

**USER GUIDE**

**MEDIT**

# Table of Contents

## Medit Apps > Medit Ortho Simulation

概要および一般情報 .....	3
概要 .....	3
意図された用途と免責事項 .....	3
システム要件 .....	3
インストールガイド .....	4
データ管理 .....	6
3Dデータを準備 .....	6
3Dデータコントロール .....	7
完了したプロジェクトを保存 .....	8
ユーザーインターフェース .....	11
タイトルバー .....	11
操作コントロールボタン .....	12
サイドツールバー .....	12
ツールボックス .....	13

## Medit Apps > Medit Ortho Simulation > Workflow

データの整列 .....	15
模型設定 .....	18
シミュレーション設定 .....	20
シミュレーションシナリオを作成 .....	20
歯のデータを分割(セグメント) .....	24
シミュレーションプレビュー .....	31
患者へのコンサルテーション .....	31
シミュレーション分析 .....	33
詳細調整 .....	36
アニメーションビュー .....	44
完了 .....	47

# 概要および一般情報

## 概要

Medit Ortho Simulationは、矯正治療で歯の運動の経路をシミュレーションするためのアプリです。治療のシナリオ(欠損歯、予定されている補綴物または抜歯)についての提供されている詳細に基づいて、アニメーション化された治療のシミュレーションを生成します。また、アプリには必要に応じて各歯は個別に位置の調整ができる、詳細調整のステップもあります。ユーザーが作成したシミュレーションは、患者とのコンサルテーション中の視覚的補助として使用でき、より広範的な話し合いを進めたり、予定する治療について詳細な診察に役立てたりできます。

## 意図された用途と免責事項

Medit Ortho Simulationは医療や診療での使用を目的として開発されていません。そのため、以下のような目的で使用することはできません。

- 疾患/ケガ/病気の診断、治療、緩和または予防
- 構造または機能の検証、交換または変換

このソフトウェアは患者とのコンサルテーション中の視覚的補助として、または分析作業のツールとして使用することを意図しています。生成されたシミュレーションと分析結果は医療ガイダンスの唯一の情報源として使用されるべきではありません。

Meditは、ソフトウェアの間違った伝達または不適切な使用に関して責任を負わず、ソフトウェアからの情報に基づく決定や行為についてユーザーまたは患者のいずれにも責任を負いません。ユーザーは以下の事項に関して一切の責任を負うものとします。

- 生成された結果およびそれらについての更なる解釈ならびに患者とのコミュニケーション
- このソフトウェアが生成した結果は正確または信頼性がない可能性があることを患者に知らせること
- 生成された結果に基づいた行為および治療の決定

## システム要件

### Windows

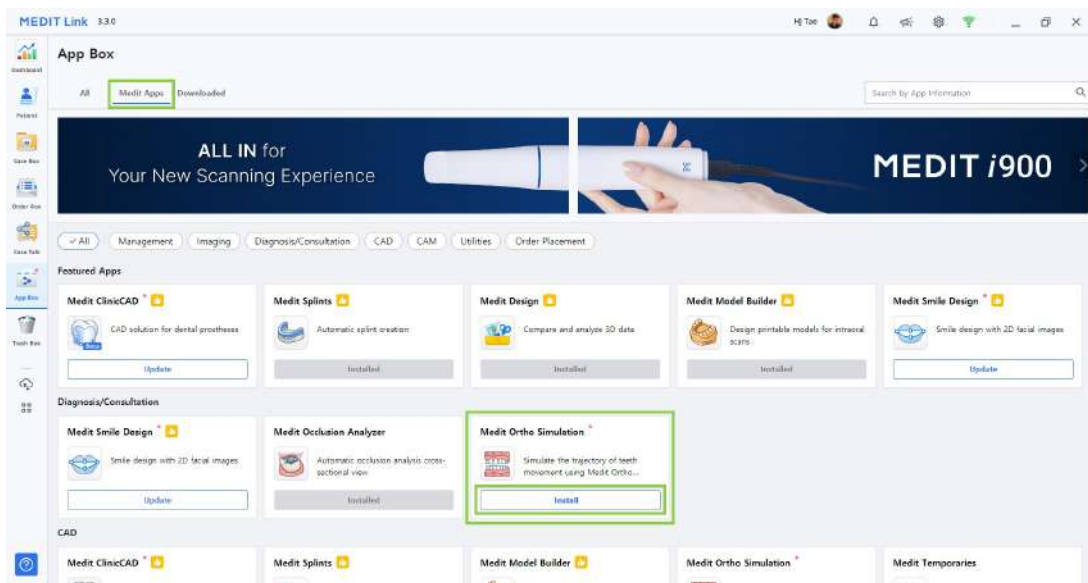
CPU	Intel Core i5 2.6GHz以降
RAM	16GB以上
グラフィック	NVIDIA GeForce GTX 1060 (2 GB) 以降
OS	Windows 10 64ビット、Windows 11 64ビット

### macOS

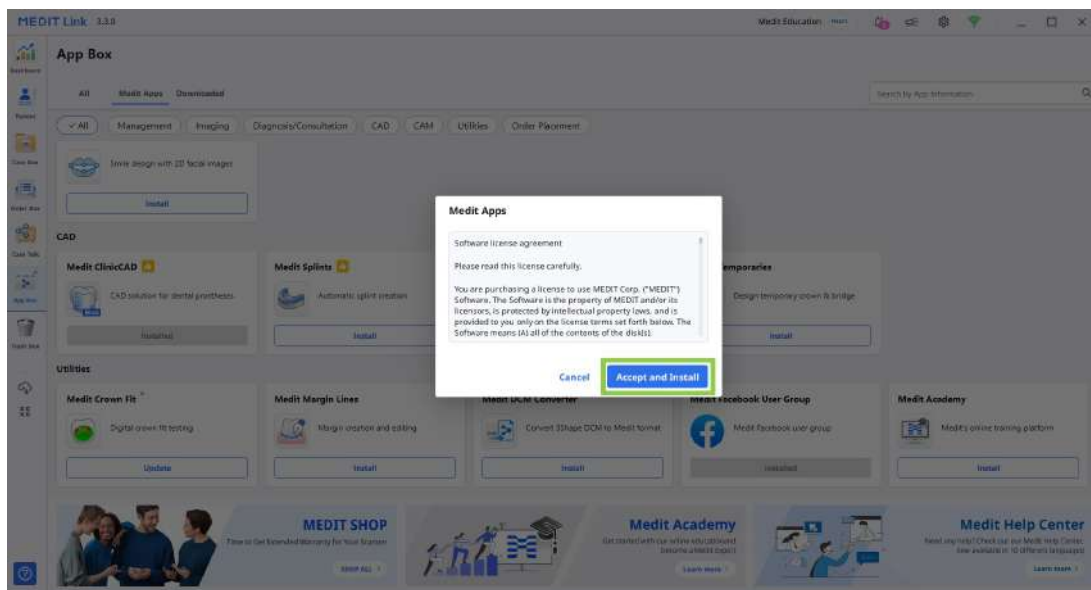
CPU	8コア以上
RAM	16GB以上
チップ	M1/M2以上
OS	Monterey 12

## インストールガイド

1. Medit Linkアカウントにログインし、左側のメニューでApp Boxに移動します。
2. Medit AppsタブでMedit Ortho Simulationアプリを探し、「インストール」をクリックします。



3. ソフトウェアライセンス契約を読み、「承認してインストール」をクリックしてアプリのインストールを確認します。



4. アプリがダウンロードされ自動的にインストールされます。インストールが終了するまでに数分かかる場合があります。

**⚠ 注意**

インストール中はパソコンの電源を切ったり、Medit Linkを閉じたりしないでください。

5. アプリがインストールされると、ケースの詳細画面の右上隅にあるアプリアイコンをクリックしてMedit Linkのいずれかのケースから起動できます。



# データ管理

## 3Dデータを準備

Medit Ortho Simulationのプロジェクトで使用する3Dデータを集める方法はいくつかあります。

### 1. Meditスキャンプログラムでスキャンを完了

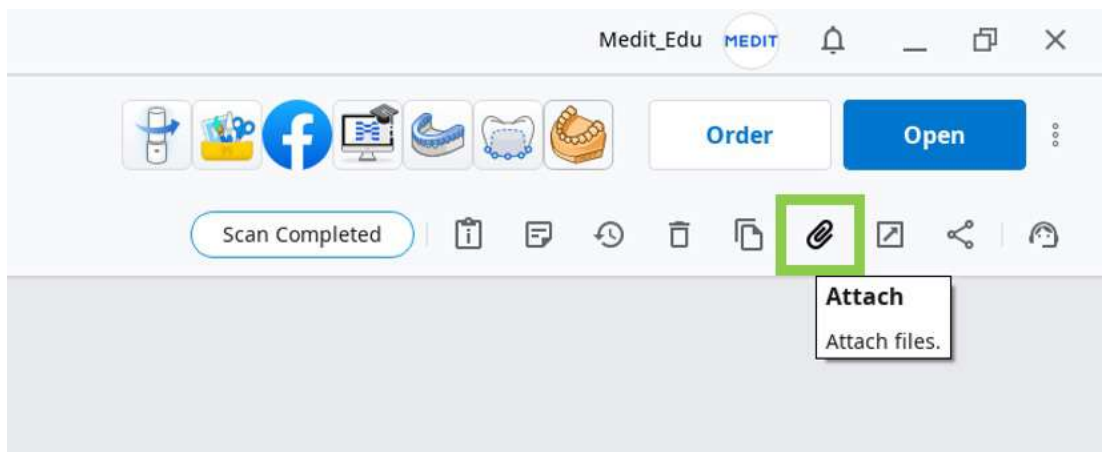
スキャン時に取得されたすべてのデータは対応するMedit Linkケースに保存されます。アプリは、ケースで利用可能なデータを自動でインポートします。

#### 🔍 注意

アプリを実行するためには、咬合スキャンが完了した上顎と下顎のスキャンを使用する必要があります。

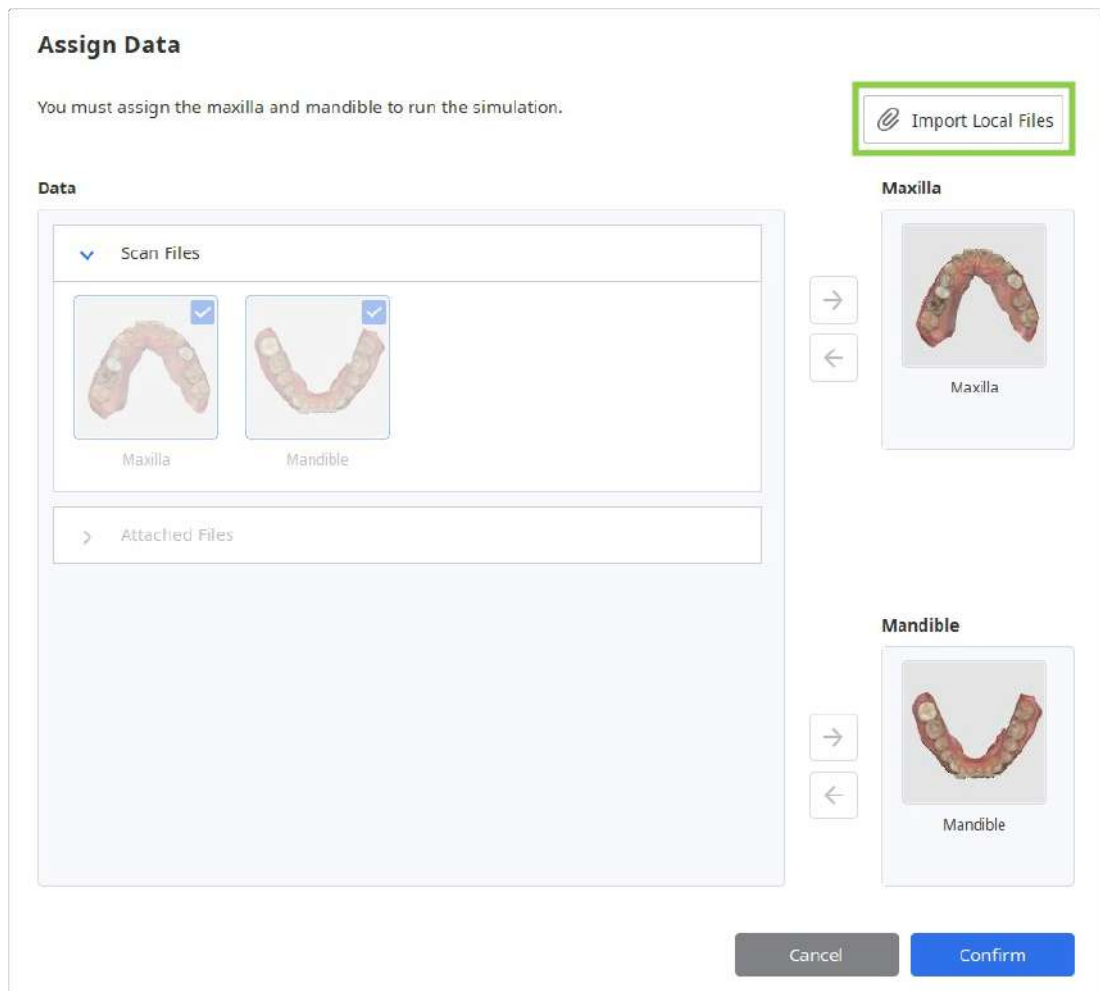
### 2. Medit Linkケースにファイルを添付

ケースの詳細画面の「添付」機能でローカルでスキャンしたデータをMedit Linkケースに追加できます。



### 3. アプリを実行後にファイルをインポート

データの割り当て画面でアプリを実行後にローカルで保存済みのスキャンデータをインポートできます。



## 3Dデータコントロール

マウスだけまたはマウスとキーボードの両方を使用して3Dデータをコントロールできます。

マウスを使用して3Dデータコントロール

ズーム	マウスホイールをスクロールします。	
ズームフォーカス	データを2回クリックします。	
ズームフィット	背景を2回クリックします。	
回転	右クリックしてドラッグします。	
パン	両方のボタン(またはホイール)を押さえてドラッグします。	

### マウスとキーボードを使用して3Dデータコントロール

	Windows	macOS
ズーム		
回転		
パン		

## 完了したプロジェクトを保存

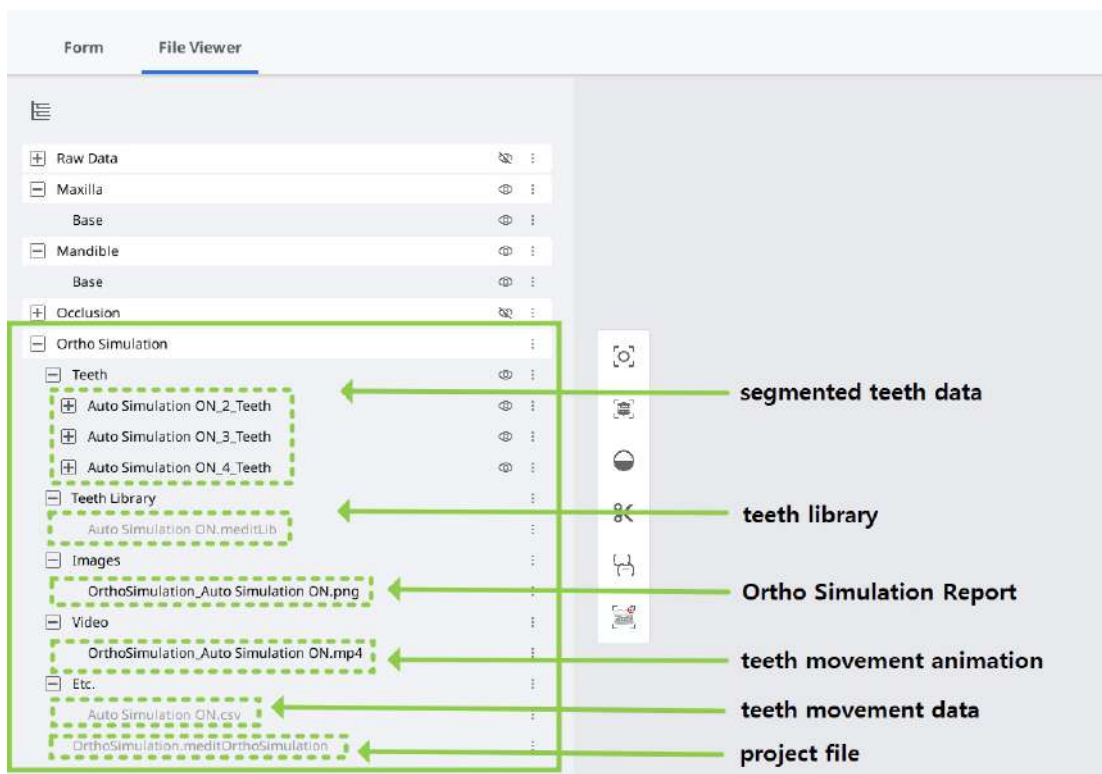
作業進捗の最終ステップとなる、上部の「完了」アイコンをクリックして、シミュレーションプロジェクト上の作業結果を保存できます。



プロジェクト完了後、プログラムは複数の結果ファイルをMedit Linkケースに保存します。それには以下のファイルが含まれます。

- セグメント化された歯のデータ(エクスポートした場合)
- Medit ClinicCAD用歯のライブラリ(エクスポートした場合)
- 基本のプロジェクト情報(Ortho Simulation Reportとも言われる)付きシミュレーションの画像キャプチャ
- 歯の運動データ付きCSVファイル(任意)
- アニメーション化されたシミュレーションの動画
- プロジェクトファイル\*

\*ケース毎に1つのプロジェクトファイルのみが利用できます。つまりこのケースでアプリを起動するたびに書きされます。



 **注意**

最終のワークフローステップに到達する前にプログラムを終了しても未完了のプロジェクトの作業進捗は保存されます。

**Exit Options**

**Exit Program After Saving**

Save all current progress and terminate the program.

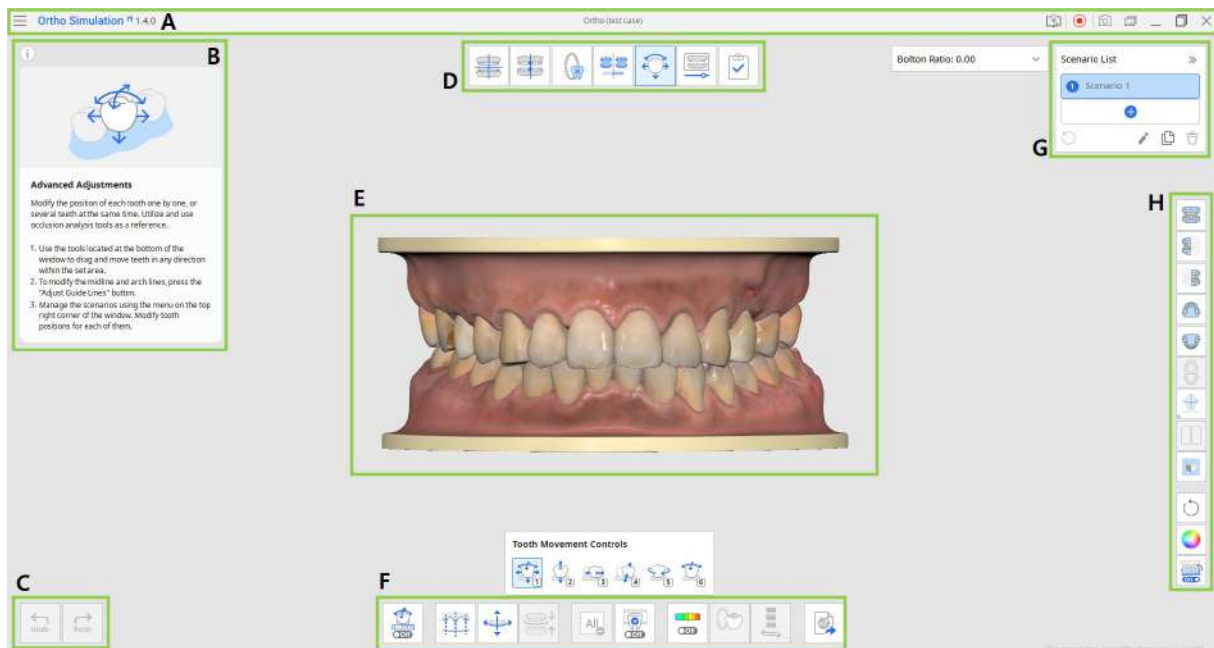
**Exit Program Without Saving**

Terminate the program without saving any of the current progress.

Cancel

# ユーザーインターフェース









## ユーザーインターフェースの一覧



A	タイトルバー
B	情報ボックス
C	操作コントロールボタン
D	ワークフロー
E	3Dデータ
F	ツールボックス
G	シナリオリスト
H	サイドツールバー

## タイトルバー

タイトルバーは、右側に基本コントロールと左側にプログラムのメニューで構成されているアプリケーションウィンドウの一番上にあるリボンです。アプリ名も表示されます。

	メニュー	利用可能な設定と役に立つ情報(ユーザーガイド、チュートリアルページ、ヘルプセンター)へのアクセスとアプリについての詳細を確認できます。
	ヘルプセンター	このアプリ専用のMeditヘルプセンターページに移動します。
	動画の録画を開始/停止	画面の録画を開始/停止します。
	スクリーンショット	スクリーンショットを撮ります。自動選択を使用してタイトルバー付きまたはなしでアプリを撮影するか、希望する領域のみを撮影するためにクリック&ドラッグします。
	スクリーンショットマネージャー	スクリーンショットを表示、エクスポートまたは削除します。完了したら、すべての撮影された画像は自動的に該当するケースに保存されます。
	最小化	アプリケーションウィンドウを最小化します。
	復元	アプリケーションウィンドウを最大化または復元します。
	終了	アプリケーションを閉じます。













## 操作コントロールボタン

アプリケーションウィンドウの左下隅に操作コントロール用の2つのボタンがあります。

	元に戻す	前の操作に戻します。
	やり直す	前の操作をやり直します。

## サイドツールバー






サイドツールバーには、シミュレーションでのすべての作業にわたり使用できるデータの可視化とコントロールのためのツールが備えられています。

	正面ビュー	データの正面側を表示します。
	右水平ビュー	データの右水平側を表示します。
	左水平ビュー	データの左水平側を表示します。
	上顎ビュー	上顎の咬合面を表示します。
	下顎ビュー	下顎の咬合面を表示します。
	咬合面ビュー	上顎と下顎の咬合面を表示します。
	参照データ表示/非表示	正中線、歯列線、顔面データの参照データを表示または非表示にします。
	シナリオ比較モード	オリジナルモデルと比較する選択したシナリオまたはすべてのシナリオを表示します。
	グリッド設定	グリッドを表示または非表示にし、モデルに対するグリッドの位置をコントロールします(オーバーレイのオン/オフ)。
	回転	クリック&ドラッグしてデータを回転させます。
	モデル表示モード	モデル表示モードを、オリジナルカラー表示モードまたは診断用モデル表示モード間で切り替えます。
	下顎運動 オン/オフ	オンになっているとき、下顎運動を歯と一緒に表示します。



## ツールボックス

ツールボックスでは、各工程での作業で必要となる機能を提供します。下記はアプリ全体にわたり各ツールボックスで提供されている機能の説明です。











### データの整列

	3つの点で揃える	咬合面に揃えるために歯列上で3つの点を選択します。
	4つの点で揃える	咬合面に揃えるために歯列上で4つの点を選択します。
	点を削除	最後に追加した点を削除します。
	データ分離	整列をリセットし、データを当初の位置に移動します。データ上の点を選択して、手動で揃えます。
	複数表示	オンの場合、この機能は異なる4つの角度からのデータを表示します。




### シミュレーションプレビュー

	歯の運動データ	シミュレーション後に、歯の運動値を確認します。
	スカルプティング	ツールを使用してデータをスカルプティングし、そのパーツを追加、削除、モーフ、またはスムーズにします。

### 詳細調整

	歯の運動データ	シミュレーション後に、歯の運動値を確認します。
	プレビューIPR	歯を削除する量 (mm) を設定し、結果をプレビューします。
	ガイドラインの調整	模型上の既存のガイドラインを修正します。
	ガイドラインに合わせる	調整したガイドラインに沿って模型を調整します。
	すべて選択解除	すべての選択を削除します。
	選択したシミュレーション	選択した歯のアニメーション化された運動を表示します。
	咬合交差の表示/非表示	オンにして歯列間の咬合の接触を確認します。
	咬合マルチビュー	右側の咬合具合を参照しながら、各歯の位置を調整します。
	偏差表示領域の切り替え	すべてのデータと接触面のみのデータ間で偏差表示を切り替えます。
	Medit Linkへのエクスポート	この進捗段階で現在のシナリオをエクスポートします。

### アニメーションビュー

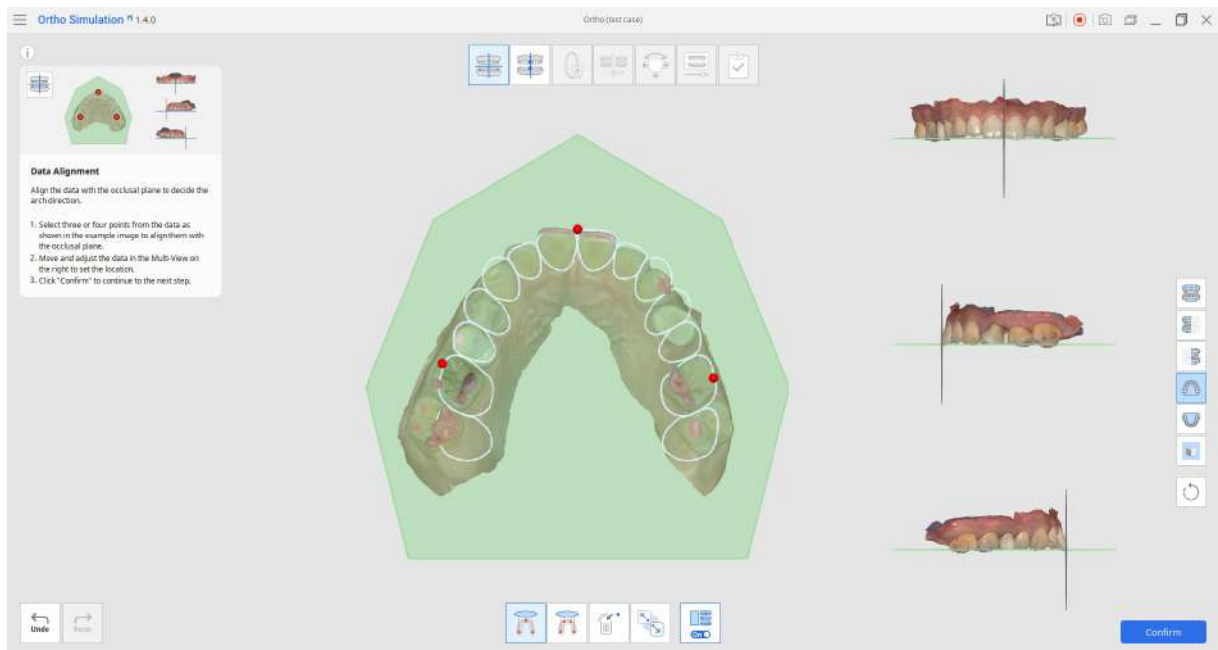
	すべてのピンを削除	すべてのピンを消去します。
	アニメーションをステップに分割	アニメーションをいくつかの均等なステップに分割します。
	Medit Linkへのエクスポート	この進捗段階で現在のシナリオをエクスポートします。

## データの整列

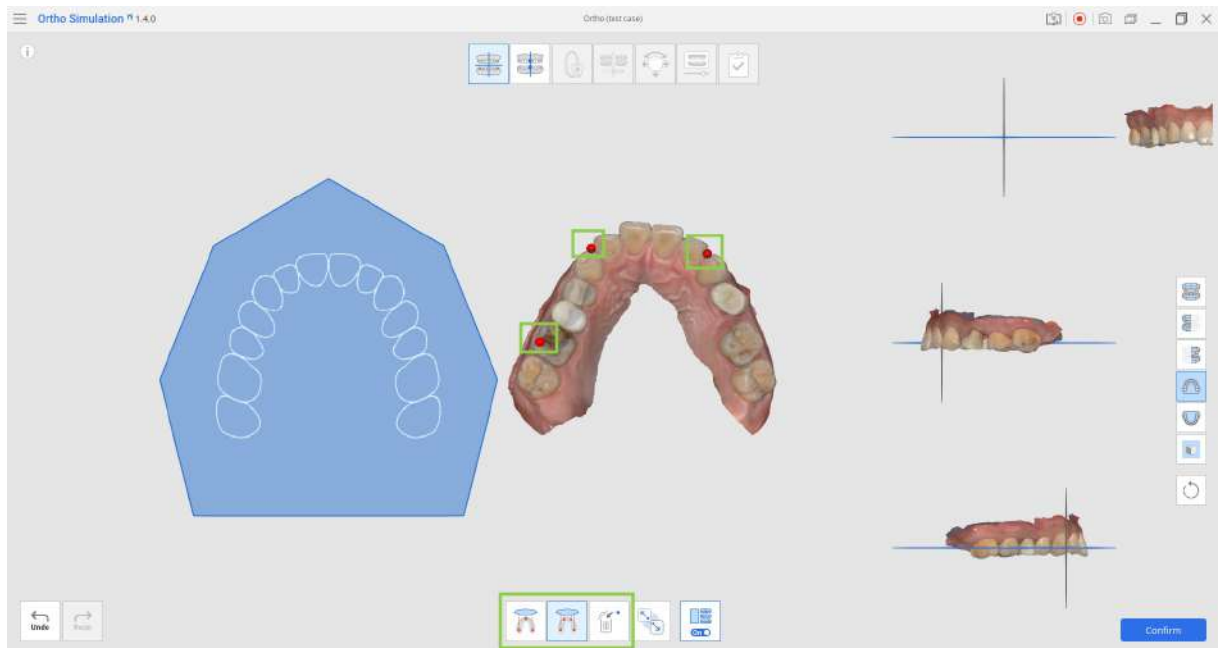
最初の工程の主要な作業は、スキャンデータを咬合面に揃えることです。サードパーティ製のソフトウェアから取得したスキャンデータをインポートしている場合にはこのステップは必須となります。しかし、Medit Scan for ClinicsまたはMedit Scan for Labsからのスキャンデータの場合には、このステップは自動的にスキップされます。

### 🔍 注意

必要があれば、Meditのスキャンプログラムからのデータを使用している場合には、このステップに戻り、シミュレーションの生成後にデータを揃え直してできますが、そうすると、作業の進捗がリセットされます。



1. 3点または4点で面をデータに揃えることができます。下から対応するツールを選択の上、データ上で点を選択します。スキャンデータは自動的に咬合面に揃えられます。点が正しく配置されていなかった場合には、「点を削除」機能を使用します。



2. データが整列されたら、右側の複数表示を使用して、データの位置を確認し、もっと正確になるよう調整します。



3. 再度整列させる必要がある場合には、下部にある「データ分離」をクリックして、最初からやり直します。



4. 完了したら、右下隅の「確認」をクリックするか、画面上部の次の工程アイコンをクリックします。

# 模型設定

この工程では、上顎と下顎の両方で正中線の点を決めて歯列の方向を調整する必要があります。

## ⚠ 注意

シミュレーションの生成後に変更するためにこの工程に戻ると、作業の進捗がリセットされます。

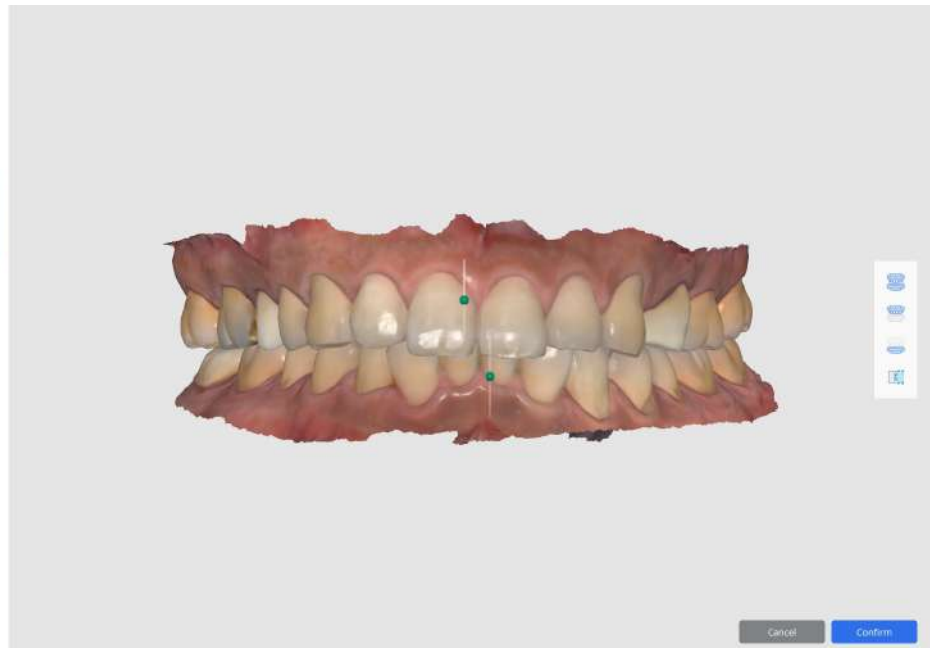
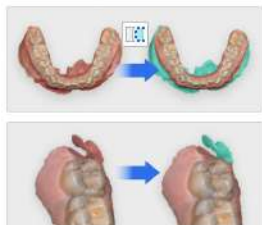
### Model Settings

1. Pick a point in the middle of the central incisors in the maxilla.
2. Pick another point in the middle of central incisors in the mandible.
3. Cut out unnecessary soft tissue parts using the trimming tools as shown on the image below.

#### Tips on Setting Midline



#### Tips on Data Cleaning



1. 緑の点をドラッグして両方の歯列に正中線を設定します。2本の中切歯の間に配置します。

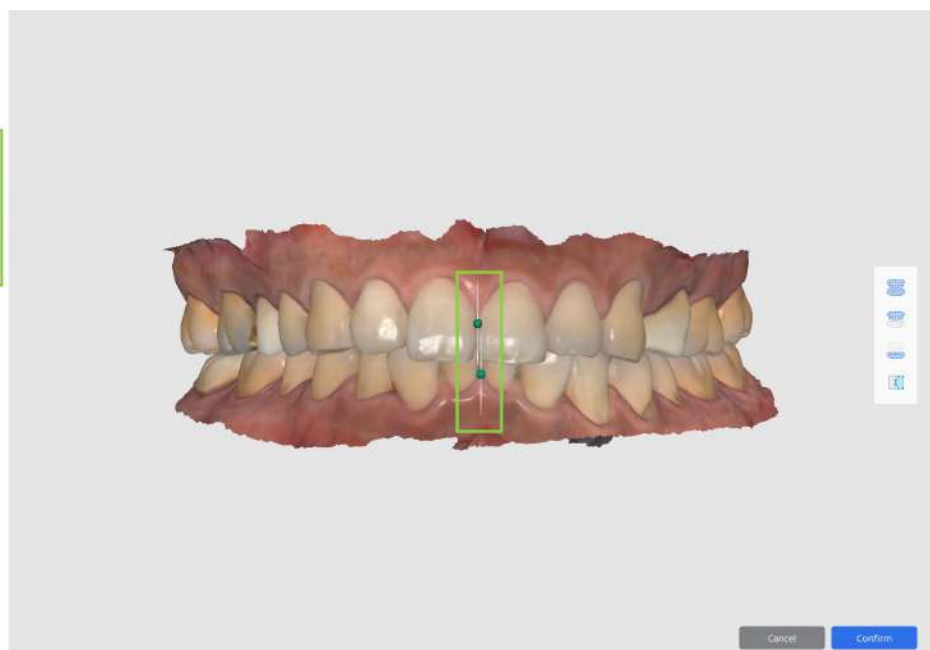
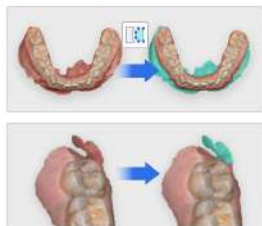
### Model Settings

1. Pick a point in the middle of the central incisors in the maxilla.
2. Pick another point in the middle of central incisors in the mandible.
3. Cut out unnecessary soft tissue parts using the trimming tools as shown on the image below.

#### Tips on Setting Midline

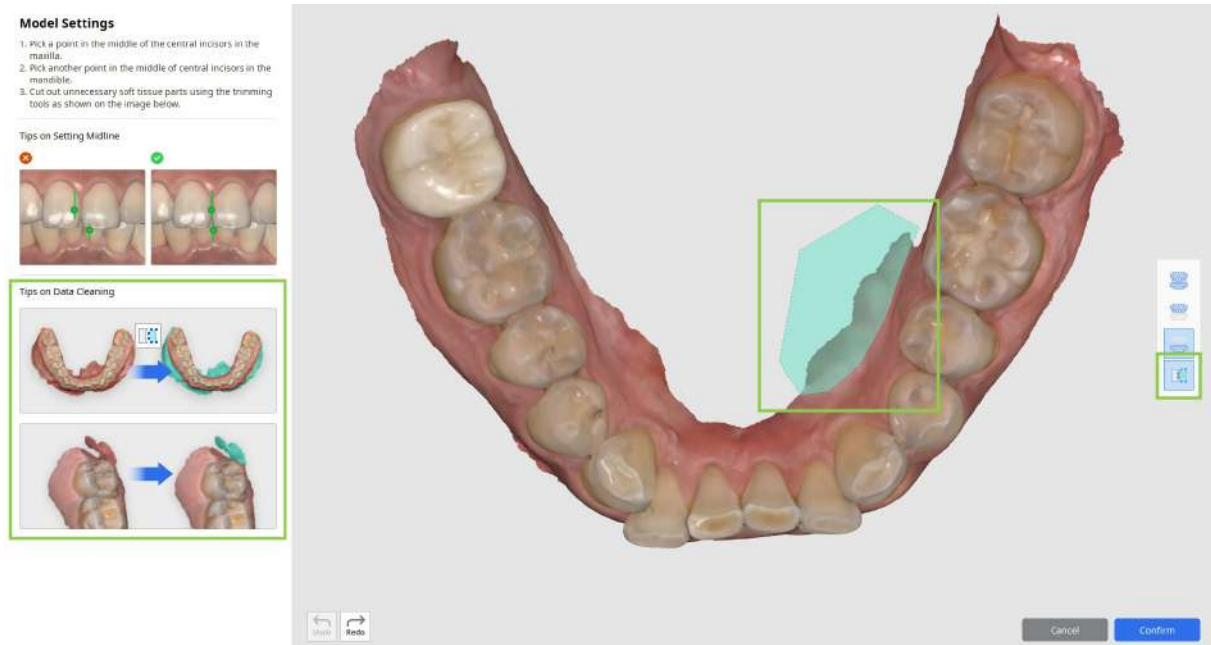


#### Tips on Data Cleaning



2. 次の工程に進む前に余分な歯肉データ(粘膜歯肉接合を越えない)がスキャンにないかどうかチェックします。これにより次に続く工程でプログラムの操作がスムーズになります。

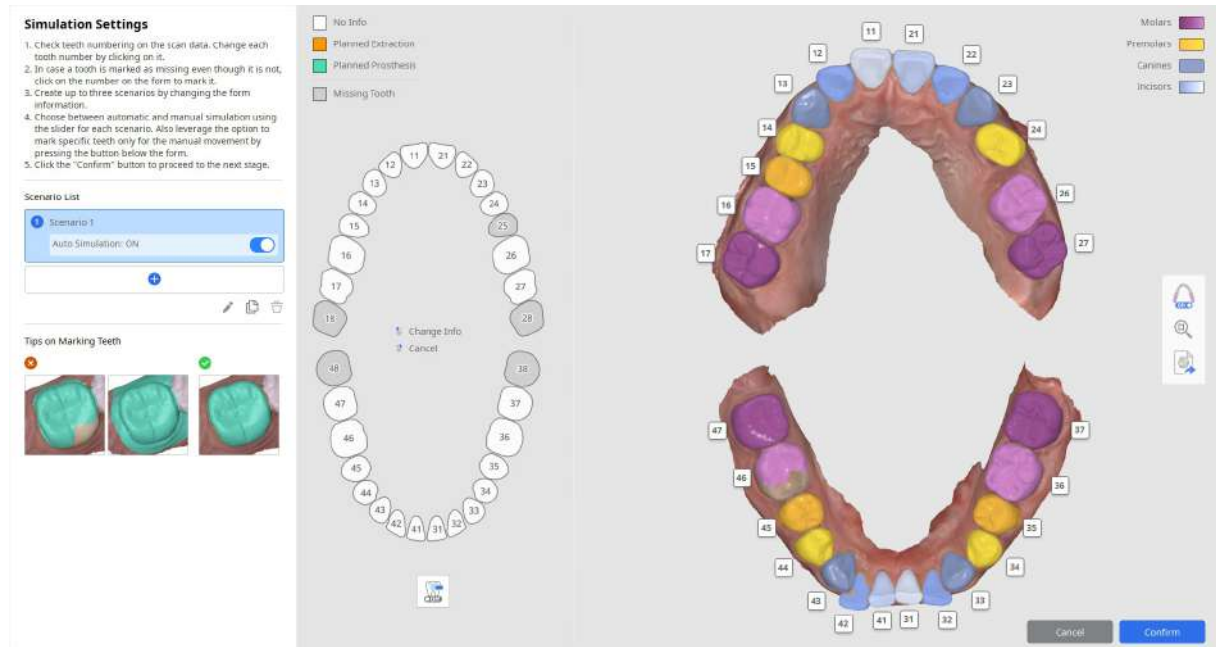
余分なものがある場合には、右側にある「多角形トリミング」ツールを使用して不要な軟組織データを削除できます。クリックしてドラッグ(または数箇所をクリック)して領域を選択したら、右クリックで削除します。再びツールアイコンをクリックしてツールを終了します。



3. 完了したら、右下隅の「確認」をクリックします。

## シミュレーション設定

これは、シミュレーション生成プロセスの最も重要な段階です。こちらでは2つの作業を完了する必要があります。一つはシミュレーションシナリオの作成とセットアップ、2つ目は歯のデータをセグメントに分けるという作業です。シミュレーションは、こちらに提供された項目への入力値に基づいて次の工程で生成されます。

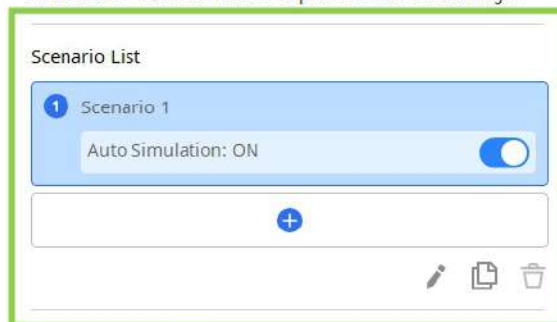


## シミュレーションシナリオを作成

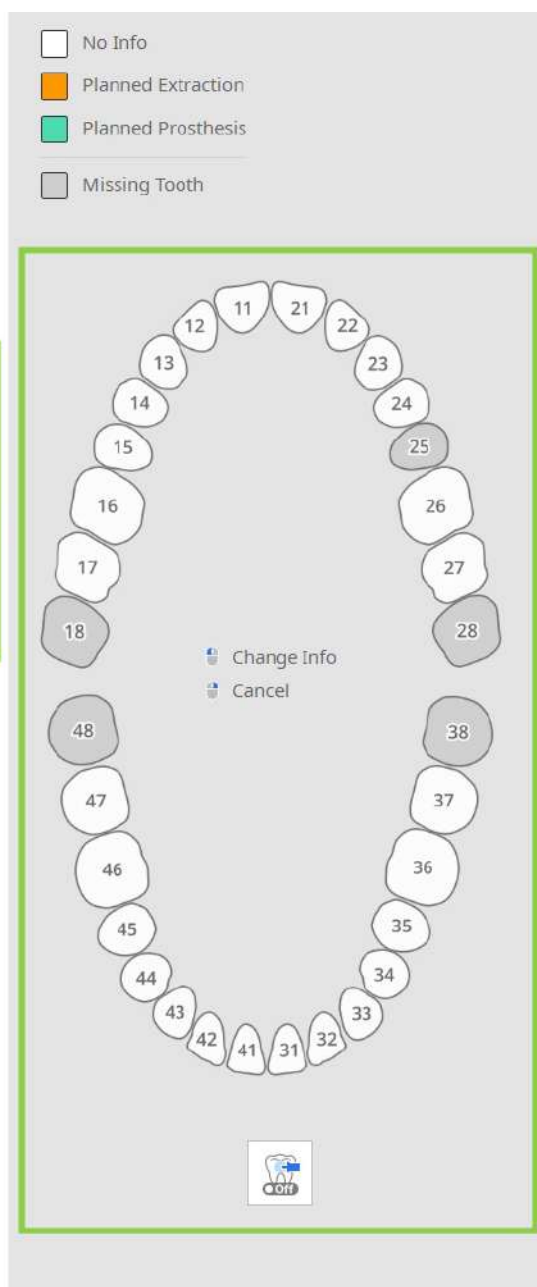
シミュレーションを作成するためには、患者の歯列と計画している治療の詳細を提供して歯の運動のシナリオをセットアップする必要があります。これは画面の左側で実行されます。

### Simulation Settings

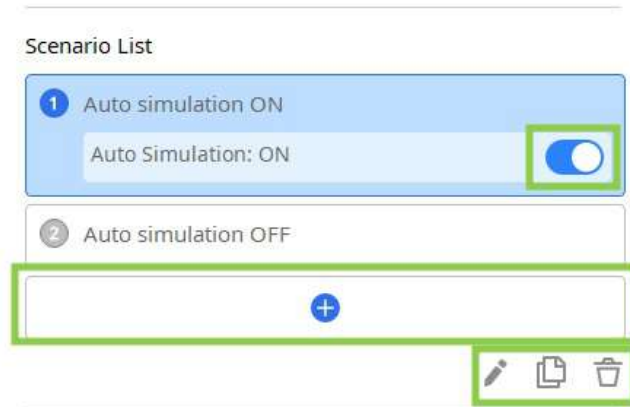
1. Check teeth numbering on the scan data. Change each tooth number by clicking on it.
2. In case a tooth is marked as missing even though it is not, click on the number on the form to mark it.
3. Create up to three scenarios by changing the form information.
4. Choose between automatic and manual simulation using the slider for each scenario. Also leverage the option to mark specific teeth only for the manual movement by pressing the button below the form.
5. Click the "Confirm" button to proceed to the next stage.



#### Tips on Marking Teeth



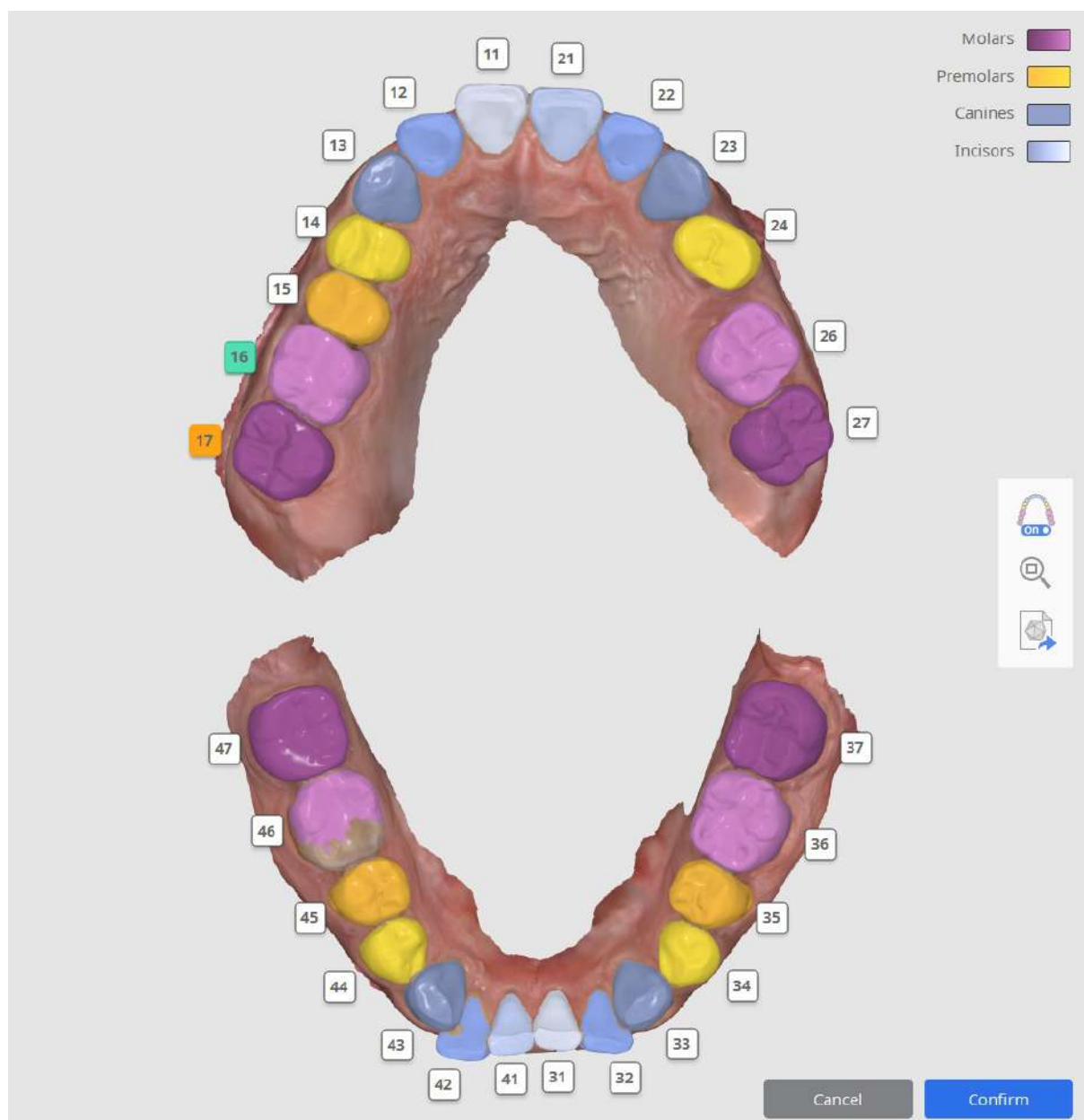
1. 左のガイドパネルのシナリオリストをチェックして開始します。無記入のフォームを1つ追加するか、既存のシナリオを複製するかして最大3つのシナリオを作成できます。ここでシナリオの名前を編集したり、削除したりもできます。「自動シミュレーション」の切り替えは、デフォルトで各シナリオごとにオンになっています。切り替えをオフにすると、オリジナルとシミュレーションデータの歯の位置は同じままになるため、以下の手順に従いそれぞれの歯を手動で動かす必要があります。



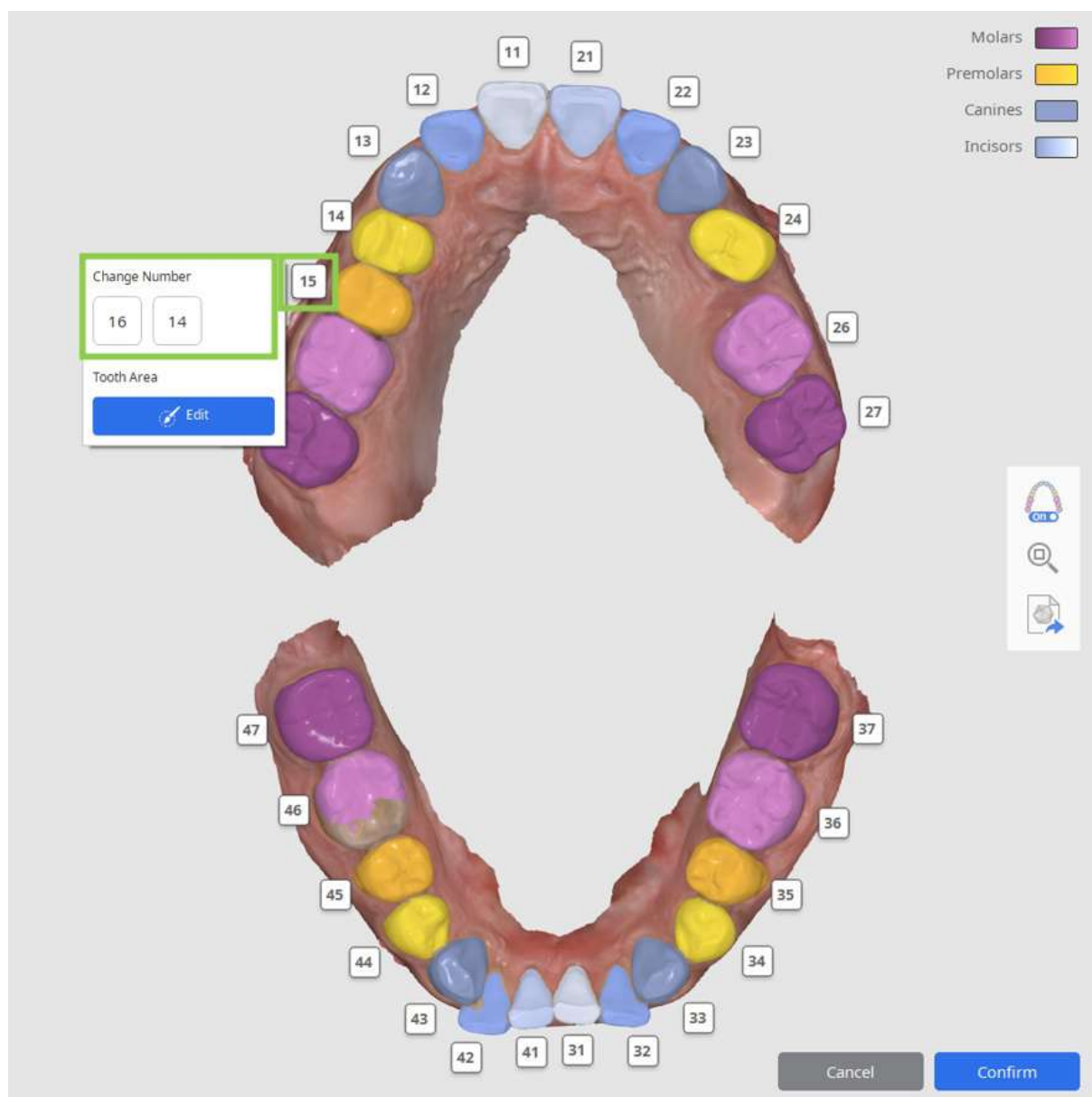




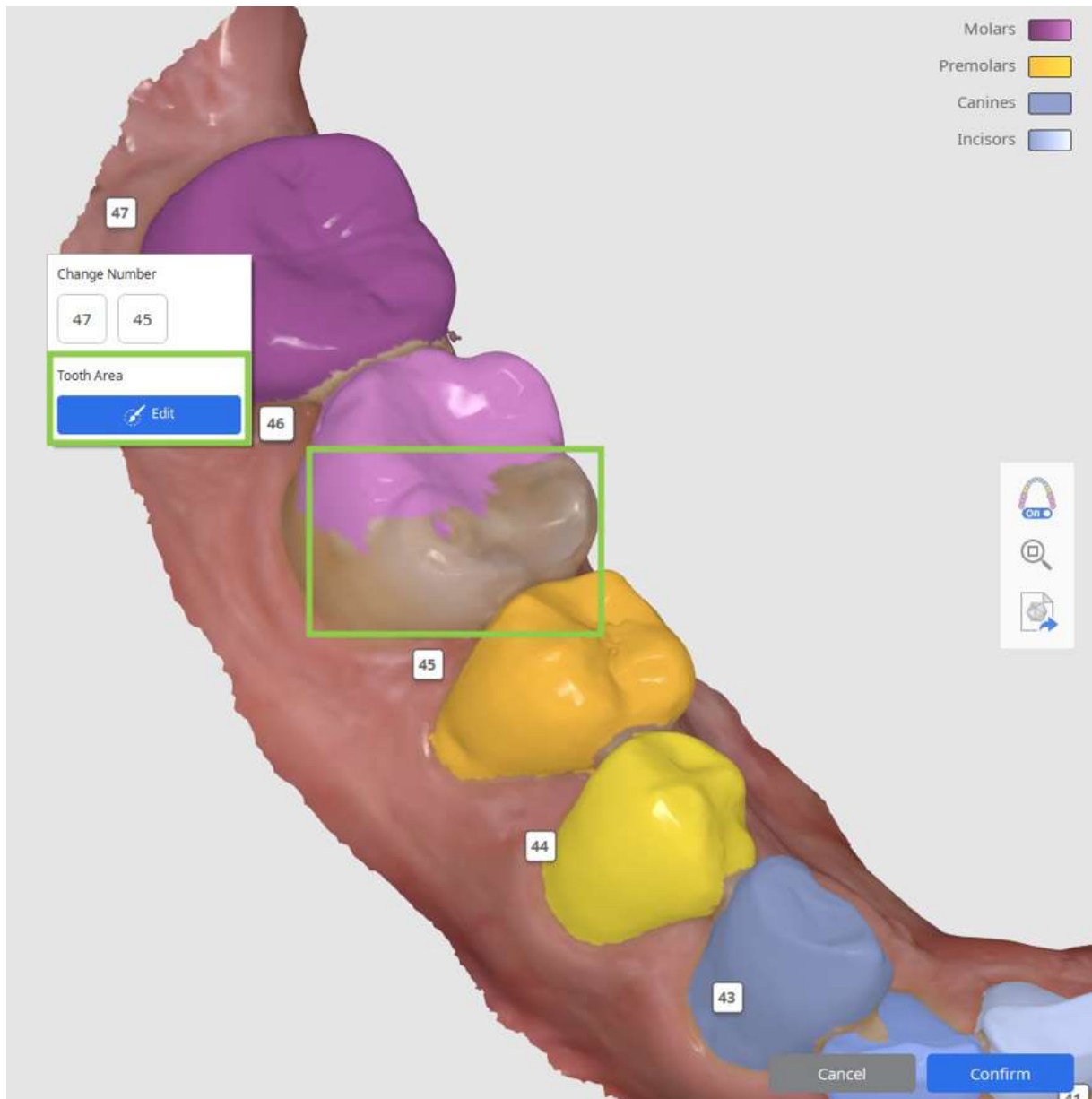
歯のデータは自動的に分割され、その結果は画面右側に表示されます。正確性を確認するために、必ず歯番とデータ選択が合っているかどうかを確認してください。



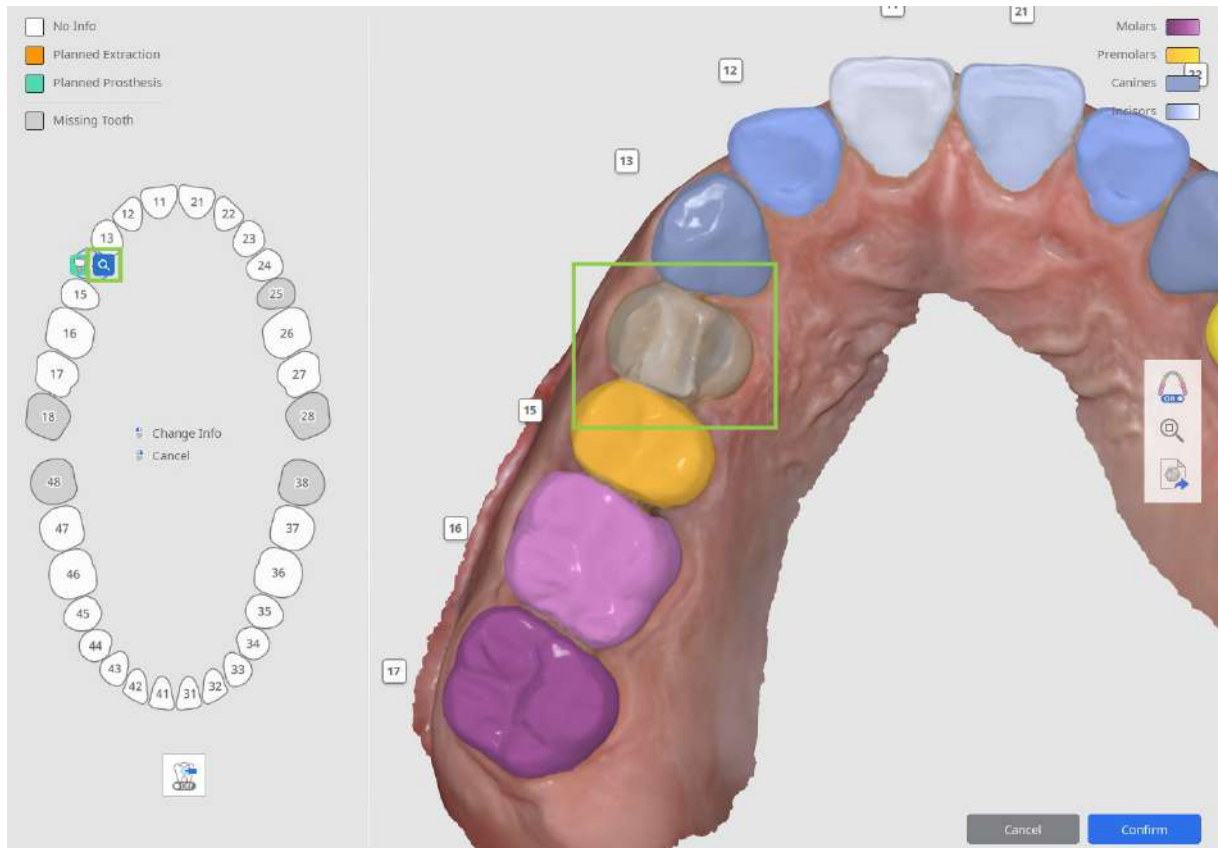
1. 最初に、歯番を確認します。歯が正しく割り当てられていない場合には、その番号をクリックし正しく割り当てし直します。



2. 次に、データ選択を確認し、各歯が正しく選択されていることを確認します。歯肉データを除く歯の表面全体が選択されている必要があります。データ選択を編集する必要がある場合には、歯番をクリックして、「編集」を選択しスキャン上で手動で歯のデータを選び直します。



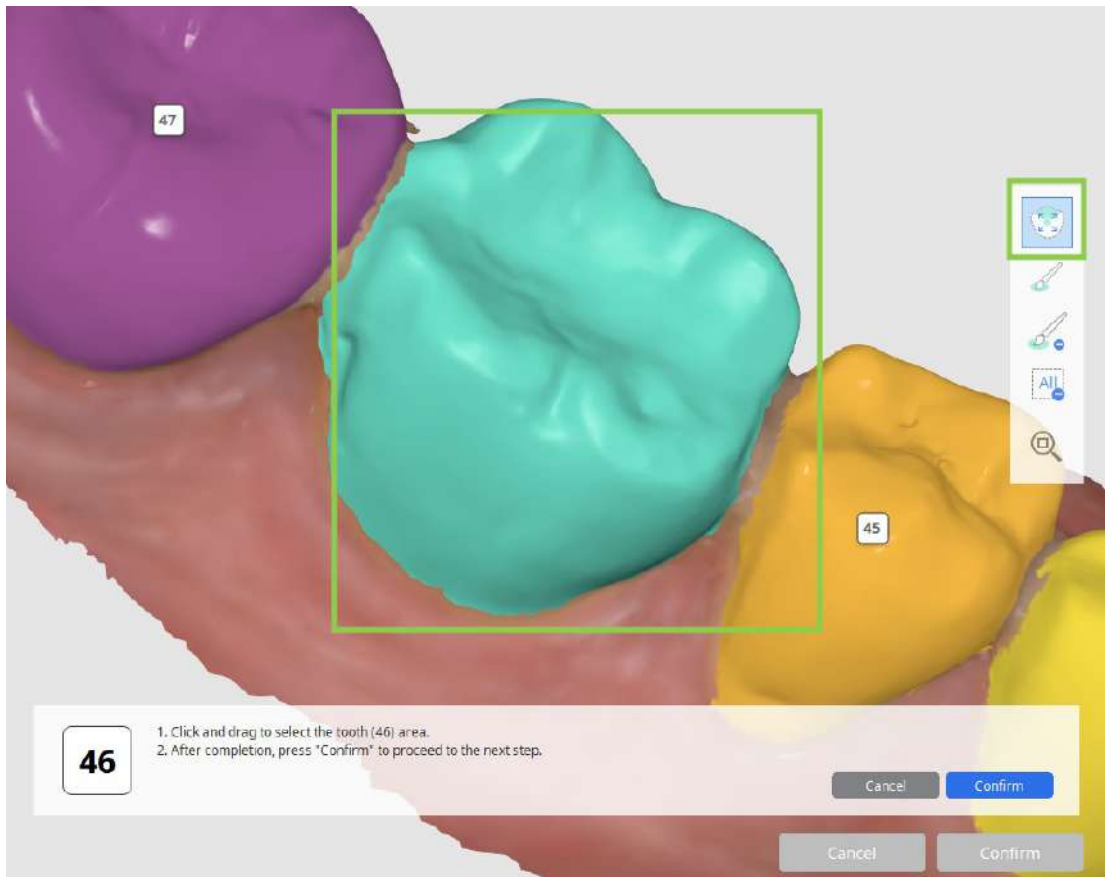
3. 歯番に対応するデータがない場合には、左側のフォームに不足として自動的に表示されます。その修正が必要な場合には、欠損歯にマウスを合わせて「歯の領域選択」を選択して、スキャン上の該当する歯のデータを手動で選択します。



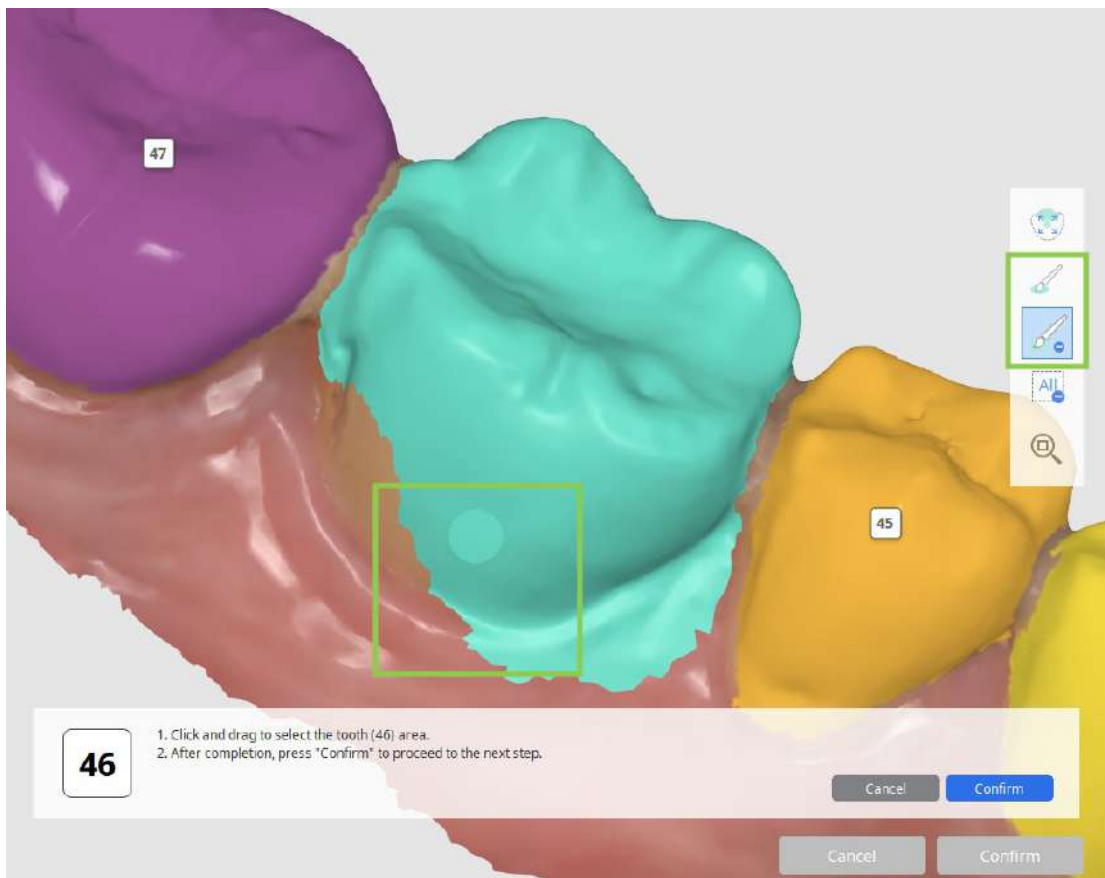
## 歯のデータの選択方法

特定できていない歯のデータを手動で選択したり、既存のデータ選択を修正したりする必要があるかどうかを確認する、選択編集モードが表示されます。

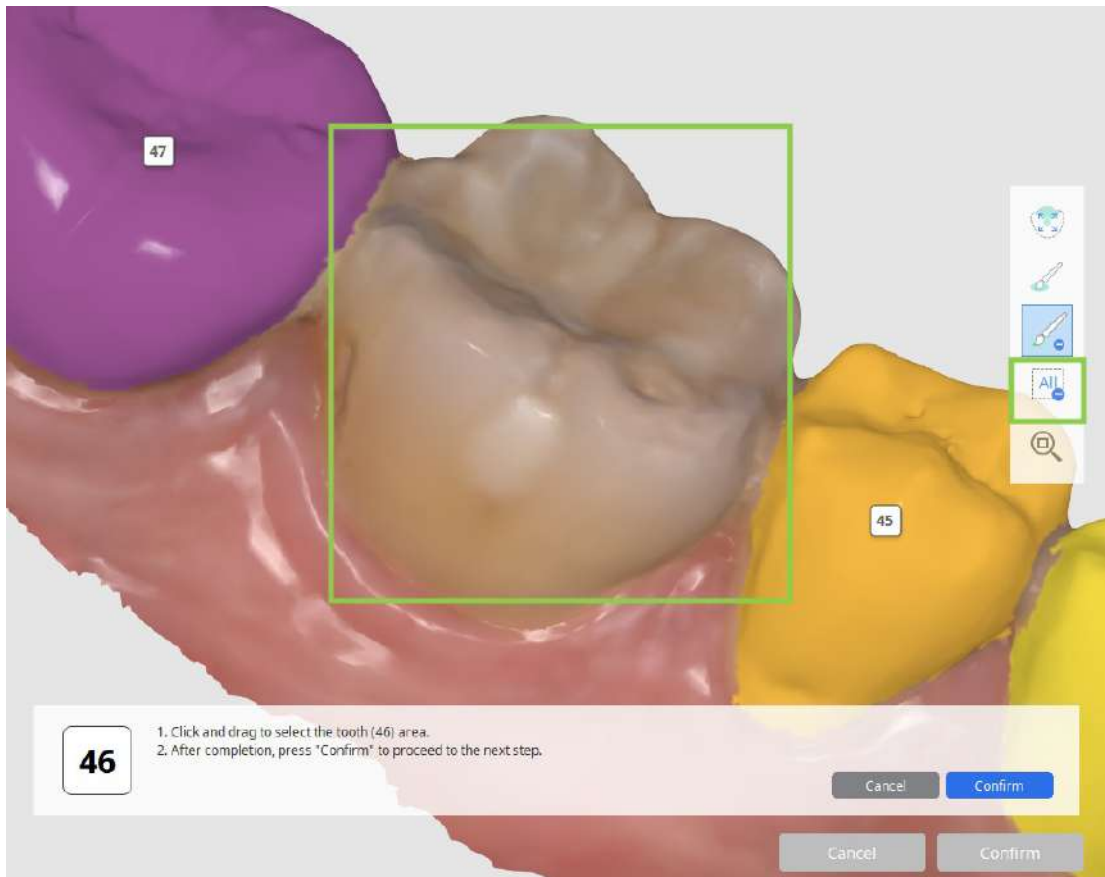
- 「スマートトゥースセレクション」ツールを使って、クリック&ドラッグして1本の歯の部分を自動で選択します。



- データ選択をより正確に行うために、「ブラシ選択」または「ブラシ選択を解除」を使用して調整します。



- すべての選択範囲を解除して最初からやり直すためには、「選択を消去」を使用します。

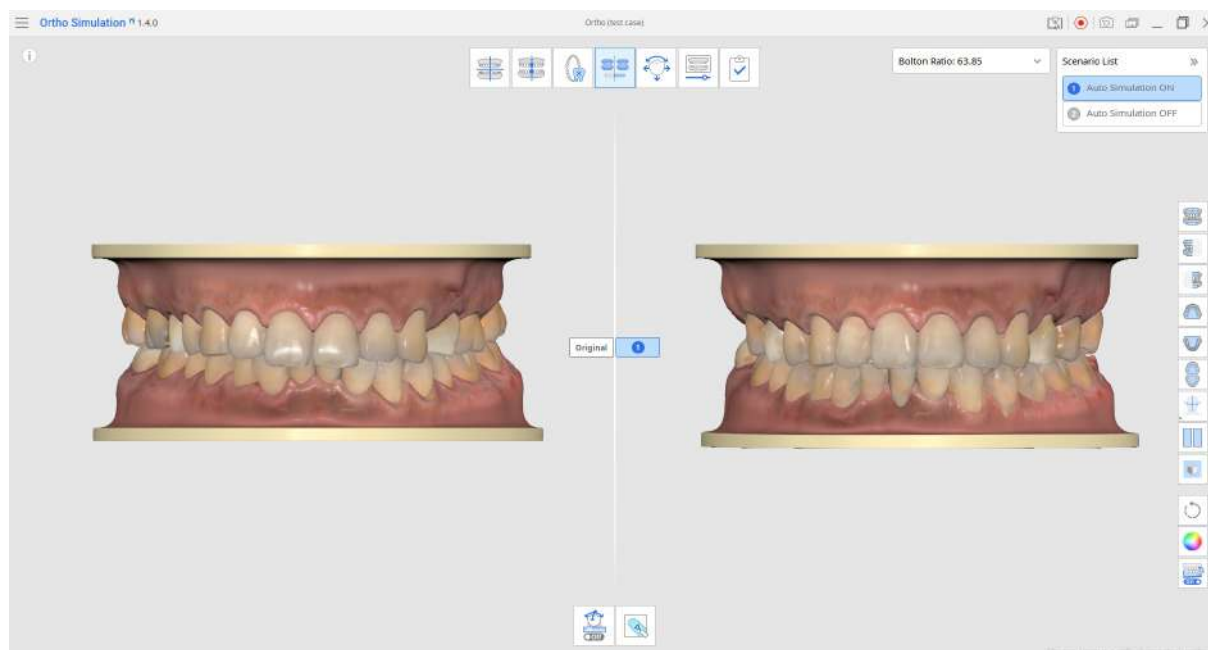


- 完了したら変更を保存するために右下隅にある「確認」をクリックします。

この工程でのすべての作業が完了したら、右下隅の「確認」をクリックします。

## シミュレーションプレビュー

この工程では、オリジナルデータの模型に沿って自動的に生成されたシミュレーションをプレビューできます。「シミュレーションプレビュー」工程には主に2つの目的があります。患者とのコンサルテーションを促進することと、シミュレーション分析を行うことです。



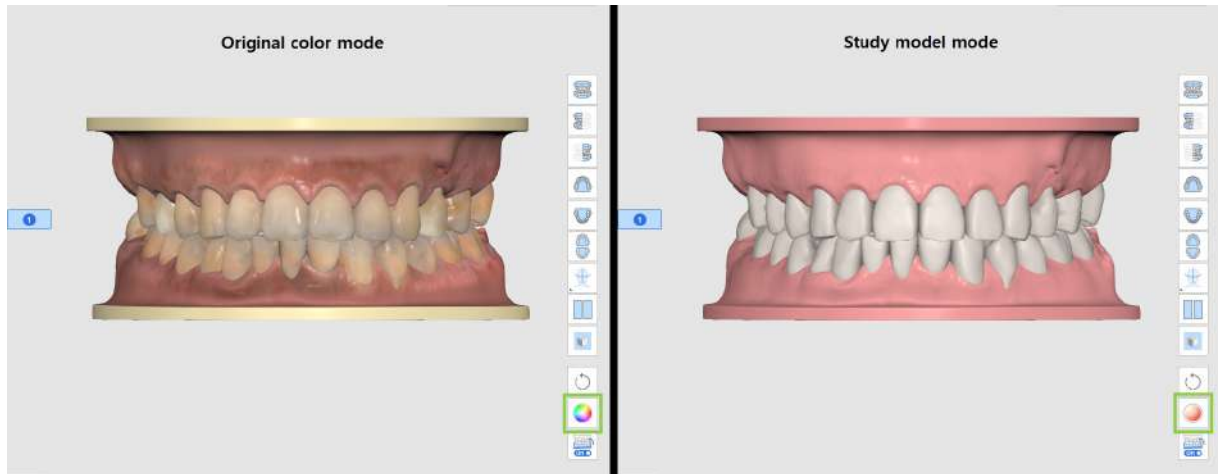
## 患者へのコンサルテーション

この工程では、治療前と予定している治療後の歯列の両方を見せながら歯の模型をプレビューできます。これらの視覚的な補助は患者へのコンサルテーション中に非常に効果的です。

こちらは、右側のサイドツールバーで利用できる便利な機能です。

### 1. 模型表示モード

患者がリアルな模型表示を好まない場合には、2色の簡易表示モードに切り替えることができます。

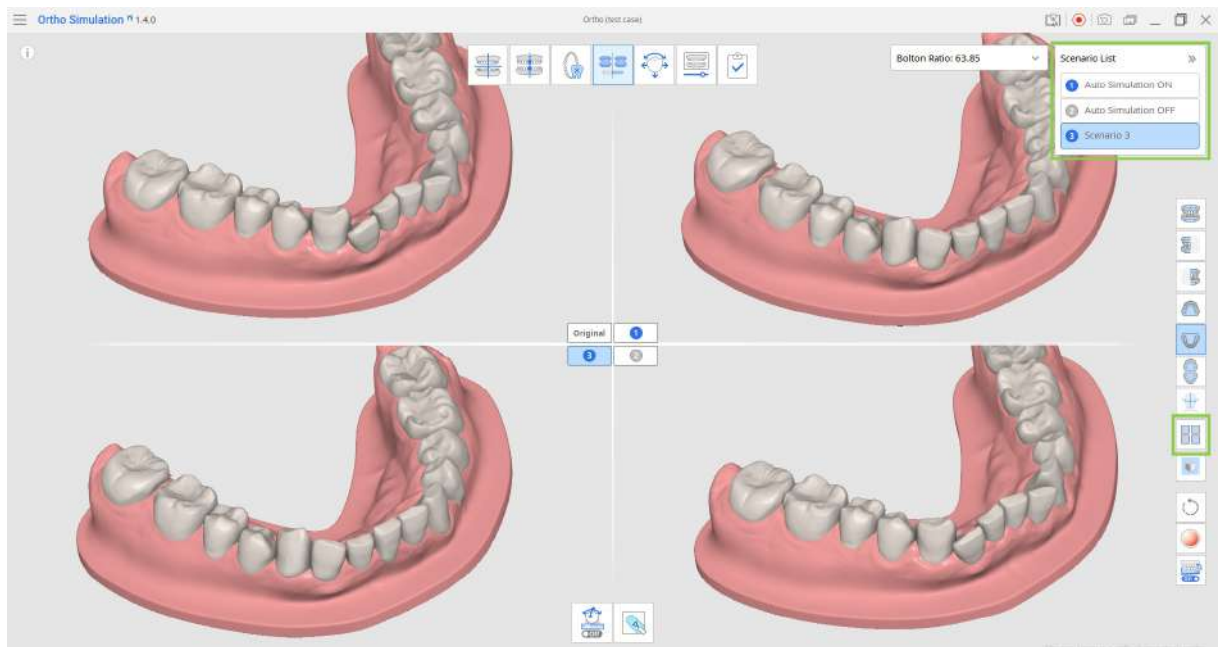


## 2. シナリオ比較モード

右上隅にあるシナリオのシミュレーション間を切り替えてオリジナルの模型と各シナリオを個別に比較できます。その代わりに、「シナリオ比較モード」を使用してオリジナル模型とともにすべてのシナリオをシミュレーションで表示することもできます。

### ヒント

サイドツールバーの表示コントロール機能を試して、さまざまな角度からシミュレーションを確認してください。



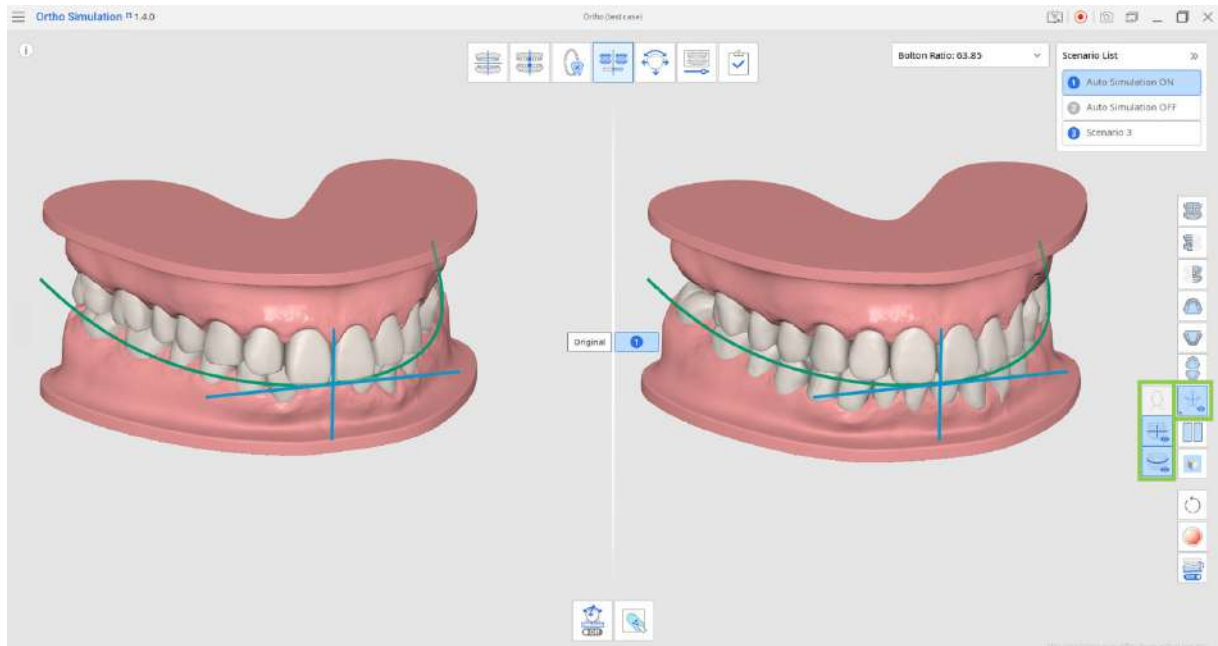
## 3. 参照データ表示／非表示

参照データ付き(正中線、歯列、顔スキャンデータ)のシミュレーションをプレビューできます。サイドツールバーの機能アイコンをクリックし、表示するデータを選択します。

必要があれば、正中線と歯列は次の工程で調整できます。

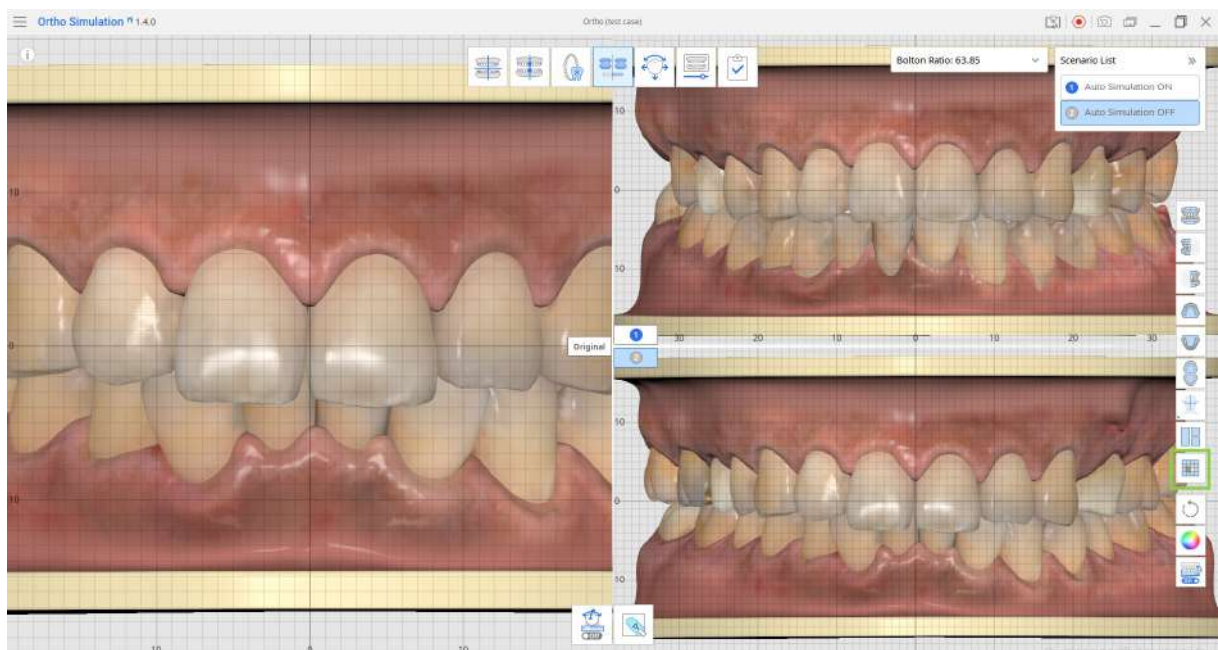
## 🔍 注意

顔スキャンデータを参照するには、Medit Scan for Clinicsでデータを取得し、整列させる必要があります。  
Medit Linkケースで利用できるデータは、自動的にアプリにインポートされます。



## 4. グリッド設定

サイドツールバーのこの機能をクリックして表示、オーバーレイ、グリッドの非表示を選んでいけます。グリッドの測定単位はミリメートルです。



## シミュレーション分析

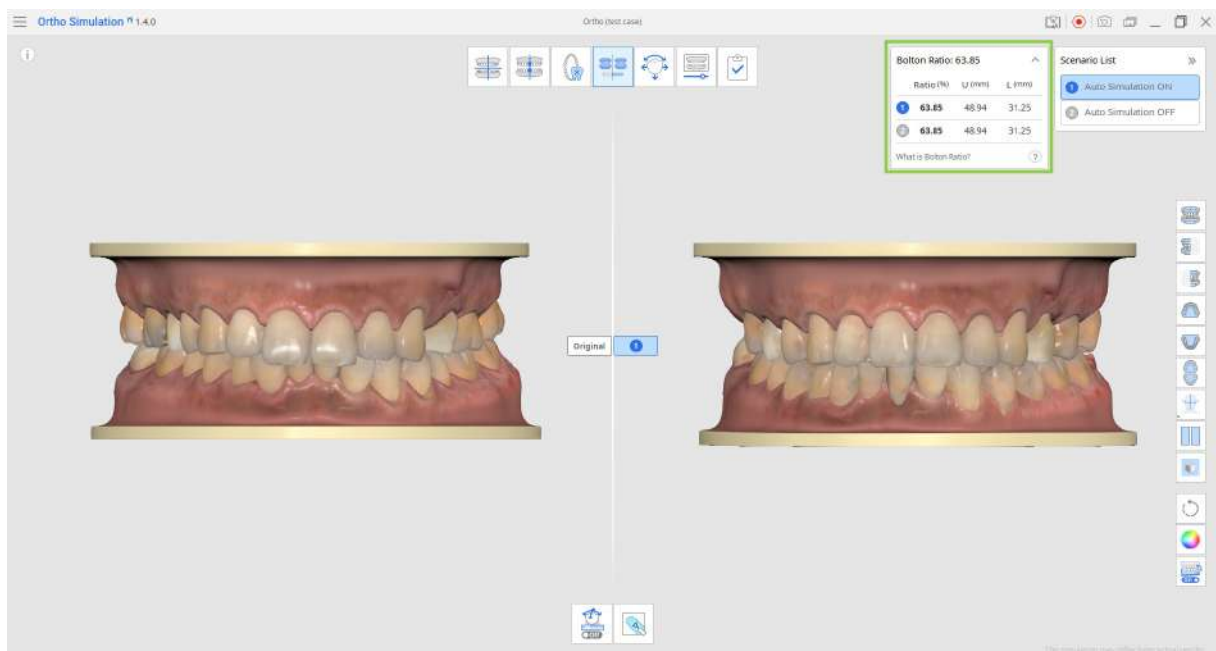
この工程では、シミュレーションの分析と診察のために、ボルトン比、歯の運動データ、スカルプティングの3つの機能を利用できます。

## 1. ボルトン比

ボルトン比は、自動的に計算され、現在選択されているシナリオの結果が右上隅に表示されます。ウィジェットを展開してすべてのシナリオの結果を確認できます。

### 🔍 注意

プログラム設定(メニュー>設定)でボルトン比のウィジェットを非表示にできます。



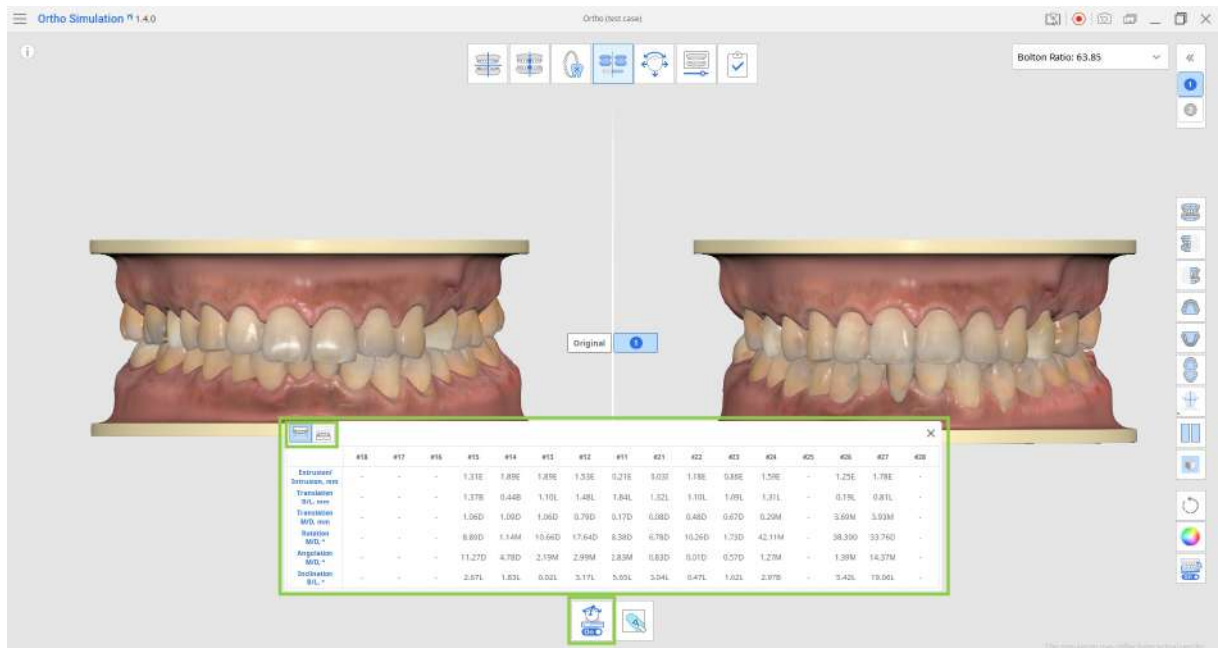
## 2. 歯の運動データ

この機能は、画面下部のツールボックスにあります。シミュレーションでの歯の運動についての計算を表示し、提案した治療シナリオでの実現可能性を確認できます。このデータは、抜歯を予定している患者の予想される歯の動きを確認したり、矯正治療で患者とのコンサルティングを行う際にも役に立ちます。

### 🔍 ヒント

表からデータをコピーできます。クリックしながらドラッグして必要なセルを選択し、CtrlとC/CmdとCを押します。

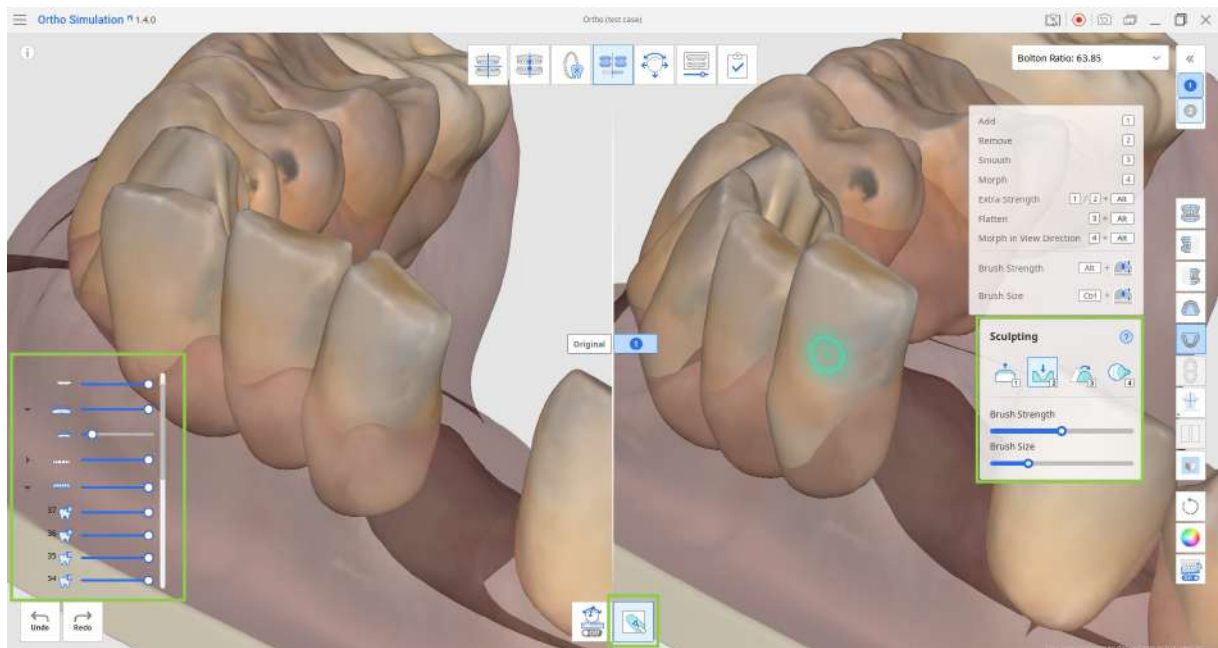
このデータはエクスポートされたOrtho Simulation Reportにも挿入できます。



### 3. スカルプティング

下部にあるツールボックスの「スカルプティング」ツールを使用すると、歯肉と歯のデータを修正できます。オリジナルデータまたはシミュレーションデータのいずれかに加えられた変更は他のデータに自動で反映されます。スカルプティングはボルトン比の結果に影響しませんのでご注意ください。

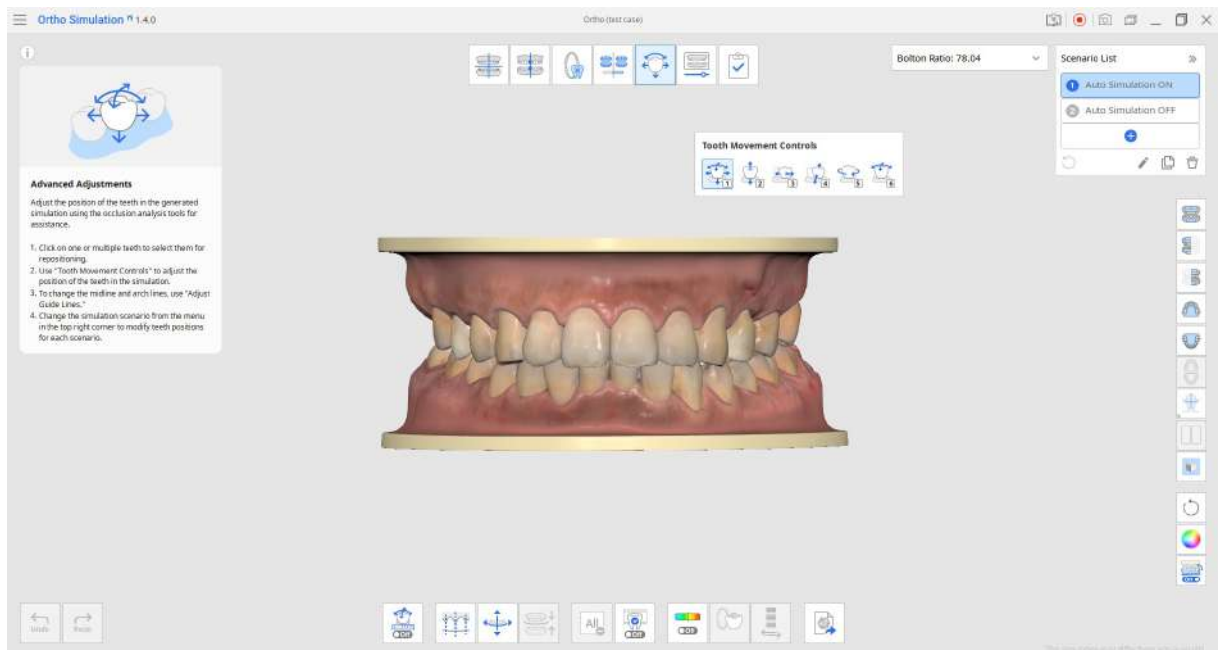
このツールを使用するとデータの追加、削除、モーフ、スムーズできます。もっとコントロールをする場合には、ブラシサイズと強度を調整し、データツリーを使用して見やすいようにデータを非表示にできます。



完了したら、画面の一番上にある次の工程アイコンをクリックします。

## 詳細調整

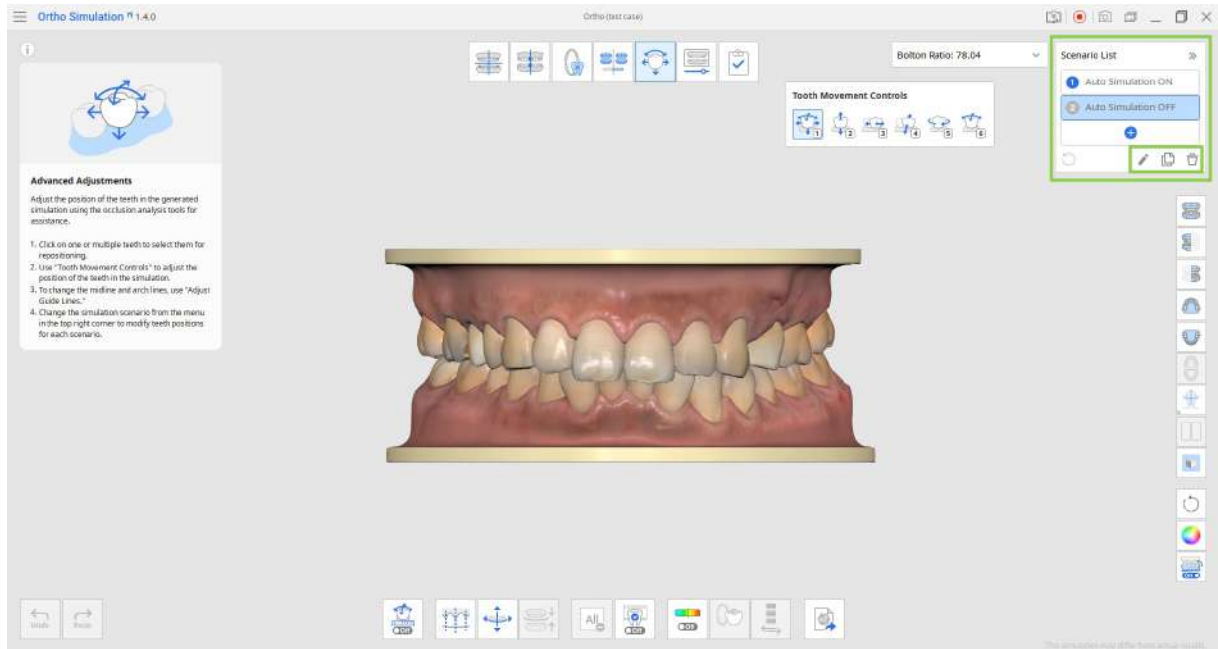
「詳細調整」は、生成された歯の運動を手動で再調整する工程です。この工程では、「自動シミュレーション」機能を選択して作成されたシミュレーションを編集したり、その機能が有効になっていなかった場合のシナリオで歯を動かしたりできます。また、この工程でシミュレーションで歯の運動を調整後に生成されたデータをエクスポートすることもできます。



1. 右上隅のシナリオを選択します。こちらで「シミュレーション設定」工程に戻ることなくシナリオリストを管理することもできます。

### 🔍 注意

シナリオリストの「リセット」機能を使用すると、この工程で行った変更のみを元に戻すことができます。

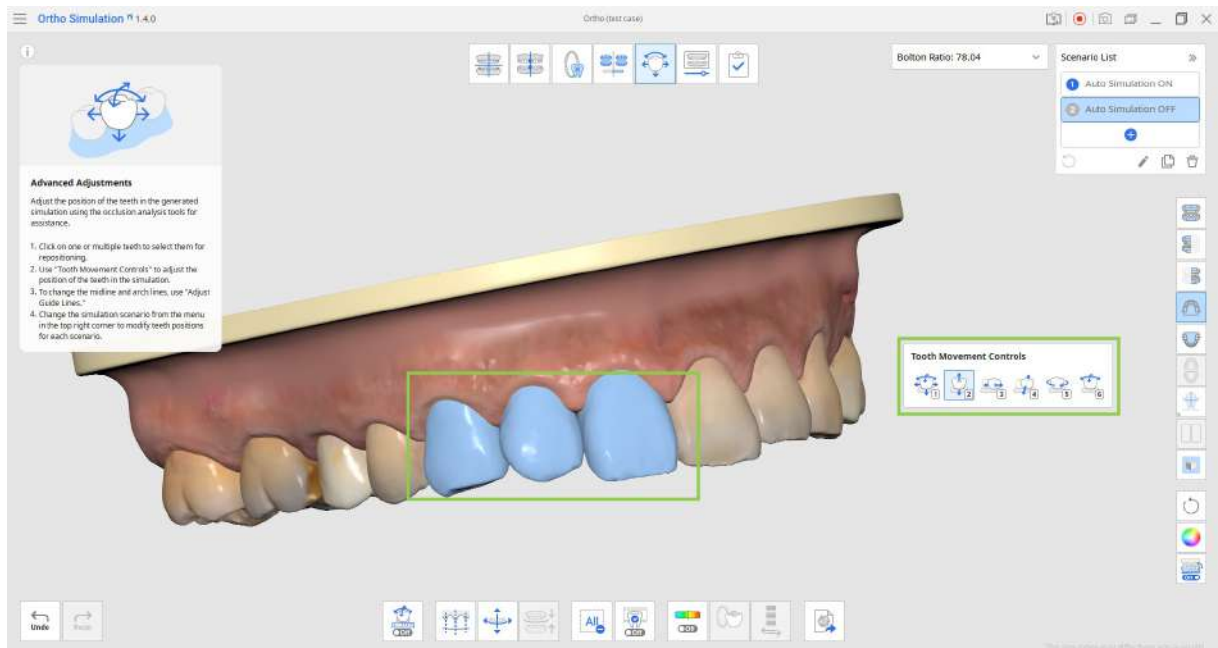


2. 「歯の運動コントロール」を使用すると、それぞれの歯を個別に調整したり、複数の歯を選択したりして歯の動きをシミュレーションできます。デフォルトでは、「自由に移動する」オプションが選択されていますが、一方向にのみを設定して動かせる他のオプションを選択することができます。歯が動かされると、歯肉データは自動的に調整されますのでご注意ください。

					
自由に移動する (* 回転させるにはCtrlを使用)	咬合方向に沿って移動	近心／遠心方向に沿って移動する	舌側／頬側の方向に沿って移動する	咬合方向を中心に回転	舌側／頬側または近心／遠心方向を中心に回転

### ヒント

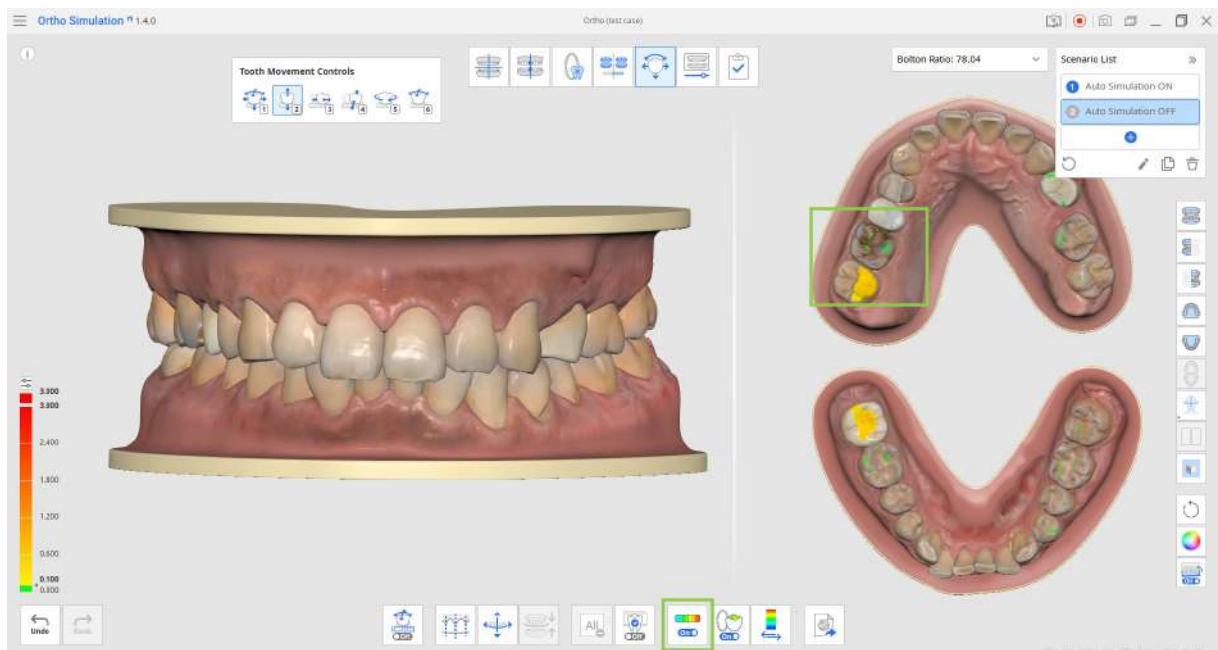
「歯の運動コントロール」のオプション間を素早く移動したい場合には、1～6の数字キーを使用します。



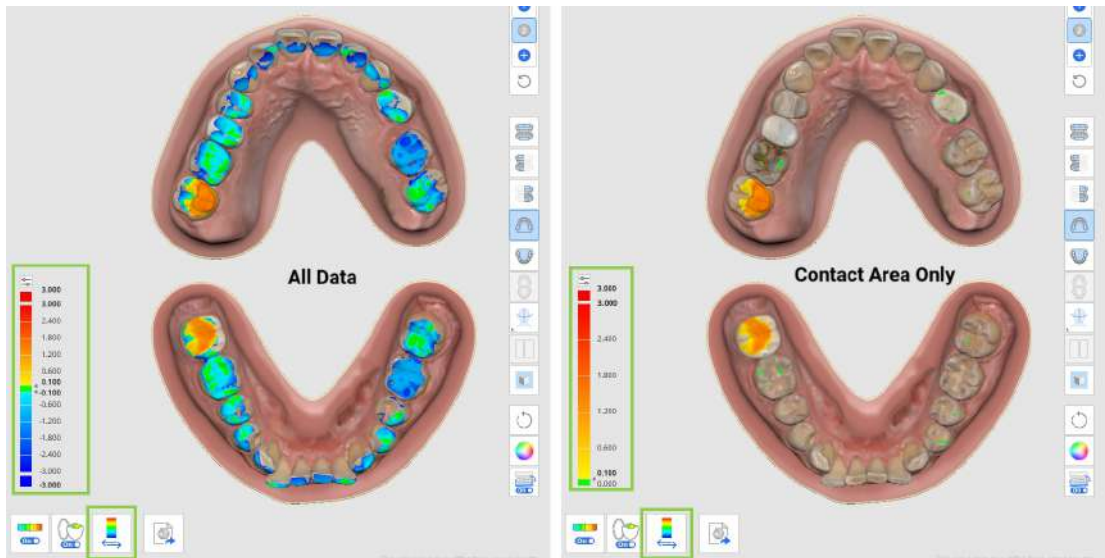
- すべての歯の選択を解除して個別の歯の運動に戻るには、「すべて選択解除」を使用します。



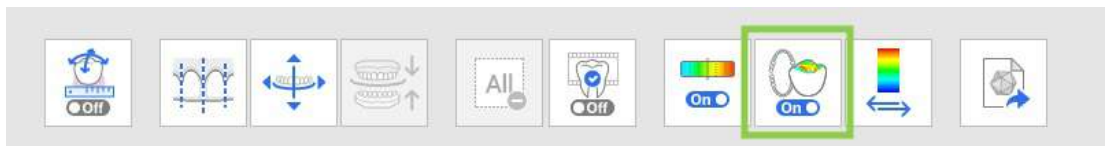
3. 歯の運動中に咬合関係での変更を参照する場合には「咬合交差の表示/非表示」をオンにします。



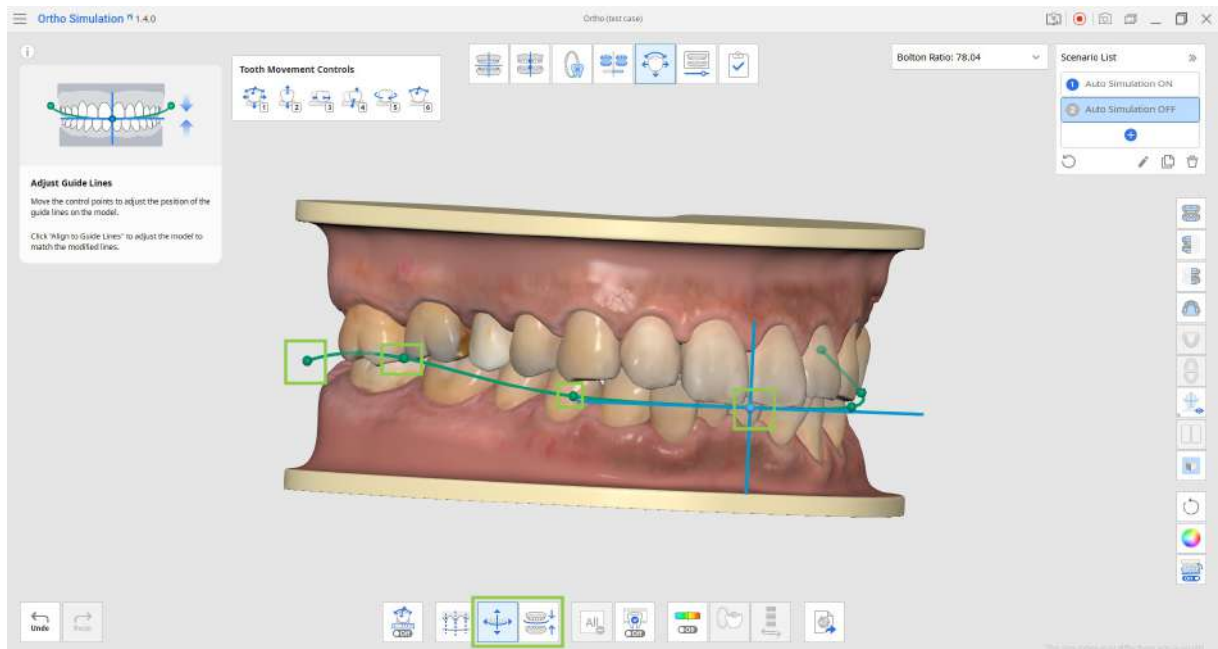
- 「偏差表示領域の切り替え」をクリックして、すべてのデータと接触領域のみ間の偏差表示領域を切り替えることができます。解像度は、左にあるカラーバーの上部にある小さいアイコンを使用するか、太字表記の番号の場合には異なる値を入力して調整できます。



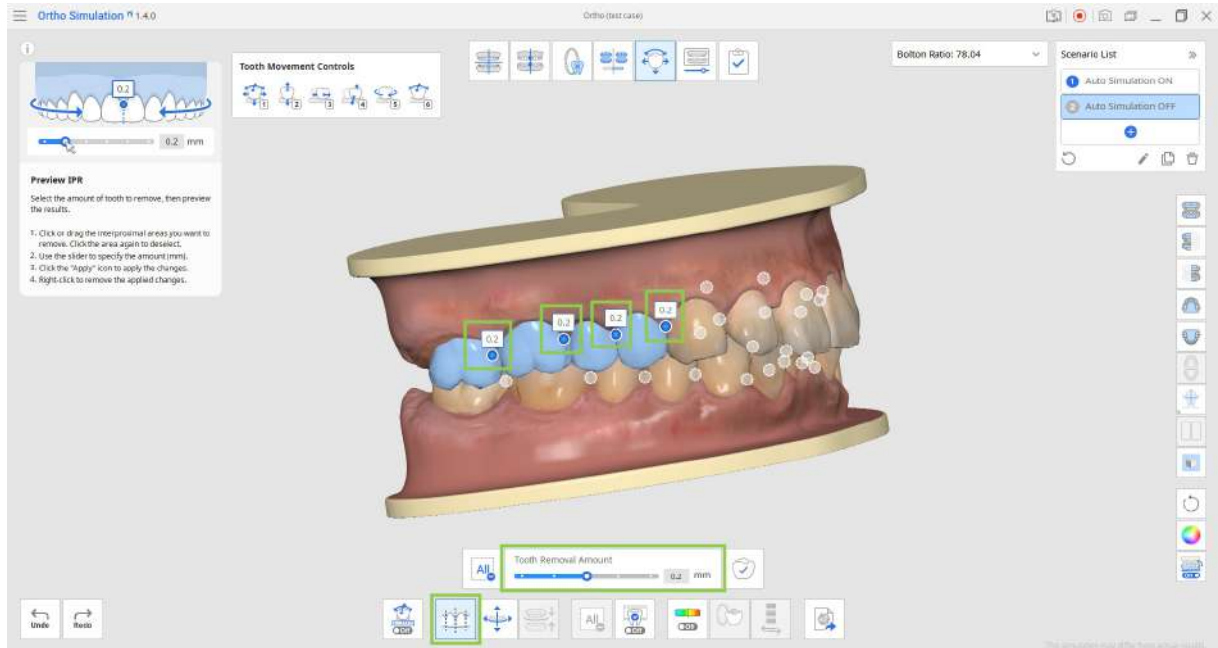
- 左側のデータの咬合ビューの分割画面は、「咬合マルチビュー」をクリックするとオフにできます。



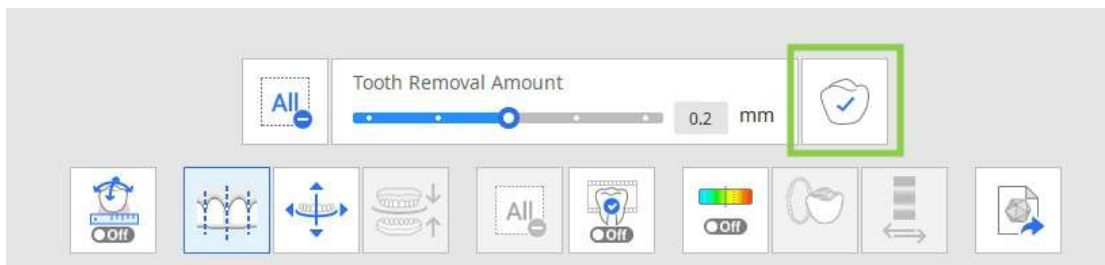
4. 歯は、正中線と歯列を調整して動かすこともできます。この場合には、下部の「ガイドラインの調整」を選択してからコントロールの点をドラッグして模型上のガイドラインを修正します。ガイドラインの調整ができれば、「ガイドラインに合わせる」をクリックして、変更に沿って模型を更新します。



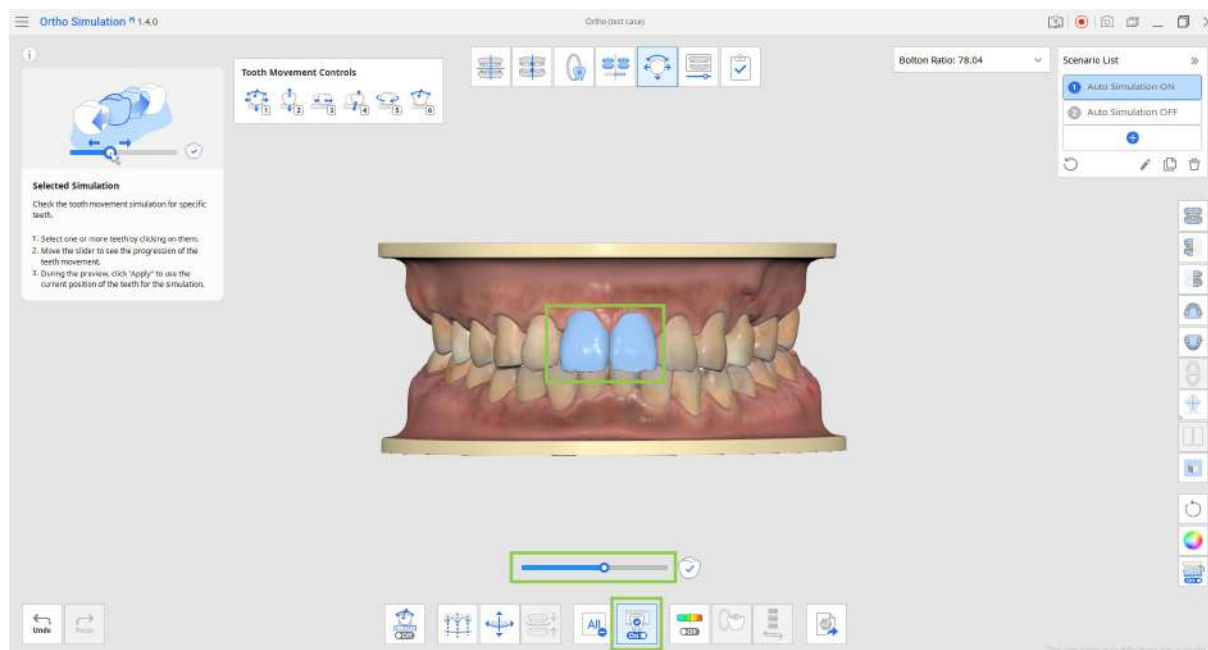
5. 「プレビューIPR」機能を使用すると、現在シミュレーションした模型上の隣接歯間の削除による結果を確認できます。最初に下記のスライダーを動かして歯の削除量を設定します。次に削除する隣接面の領域に該当する円形を選択します。プレビューがすぐに表示されます。



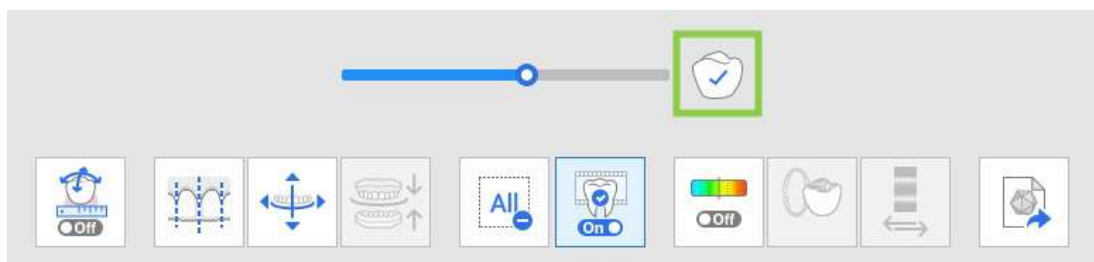
- 最終の模型にIPRプレビューを適用する場合は、「プレビューIPR」機能を無効にする前に「適用」をクリックします。



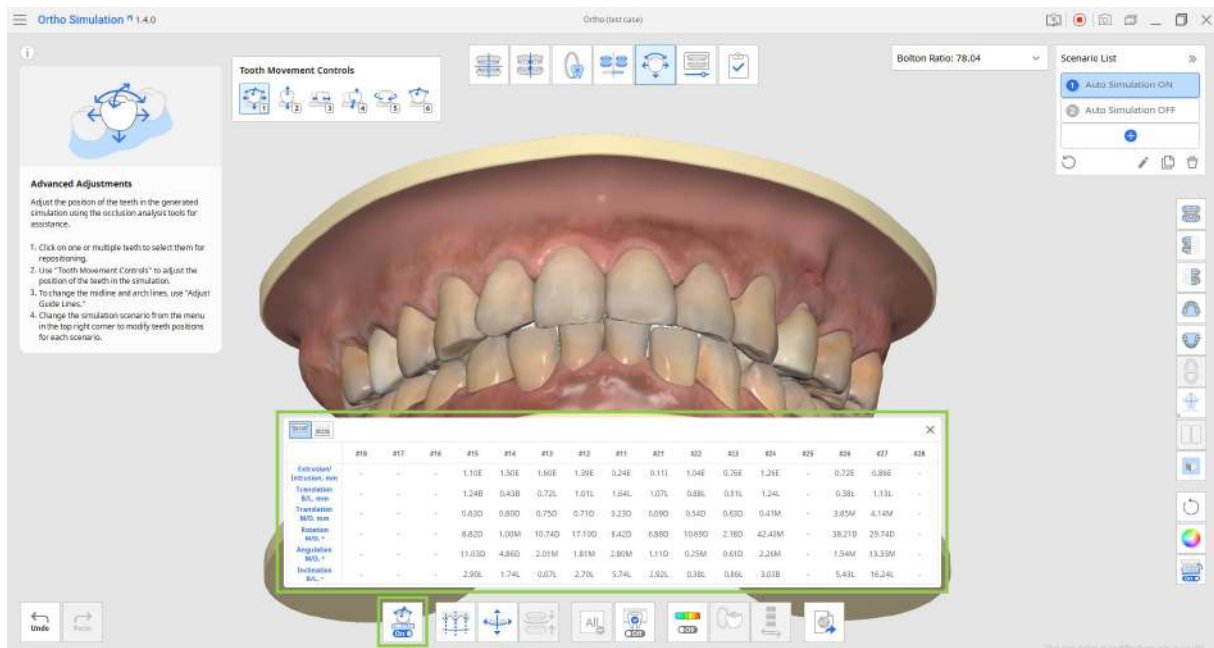
6. 「選択したシミュレーション」機能を使用すると、特定の歯の運動のアニメーションを確認できます。確認したい歯をクリックして、下にあるスライダーをドラッグしてその歯の運動具合を確認します。



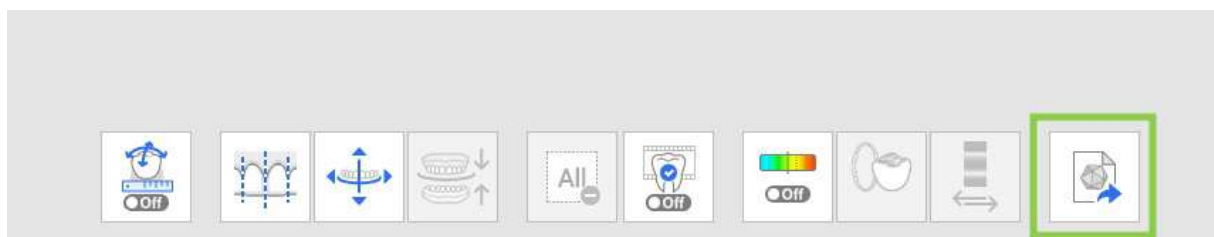
- 再生から最終のシミュレーションまでに現在の歯の位置を適用する場合には、「選択したシミュレーション」機能を無効にする前に「適用」をクリックしてください。



7. 前の工程と同様に、「歯の運動データ」機能を使用して各歯列の表で計算されてまとめられた歯の運動の詳細を確認できます。



8. この工程でもシミュレーションデータをエクスポートできる機能があります。右上隅のシミュレーションシナリオを選択し、「Medit Linkへのエクスポート」をクリックすると、データエクスポートをカスタマイズできます。



Medit ClinicCADでさらに使用するためにライブラリファイルとしてデータをエクスポート、または単にセグメント化された歯(開いた状態または閉じた状態)としてエクスポートできます。ライブラリとしてデータをエクスポートする場合、次回にアプリ起動時にMedit ClinicCADに自動的に追加されます。エクスポートするファイルの名前を入力し、データを確認して「確認」をクリックします。エクスポートされたすべてのファイルは、現行のMedit Linkケースに追加されます。

### 注意

「エクスポート手順」オプションは、次の工程で利用でき、ここではアニメーション化されたシミュレーションが分割されます。

### Export Settings

1. Check the name of the export file.
2. Choose which steps of the animation you would like to export.
3. Set whether to export the teeth data as a library for Medit ClinicCAD or just as segmented teeth data.
4. Click "Confirm" to finalize your export.

#### Save As

Auto Simulation ON

#### Steps to Export

Current Step

All Steps

Selected Steps

#### Export As

Library

Segmented Teeth



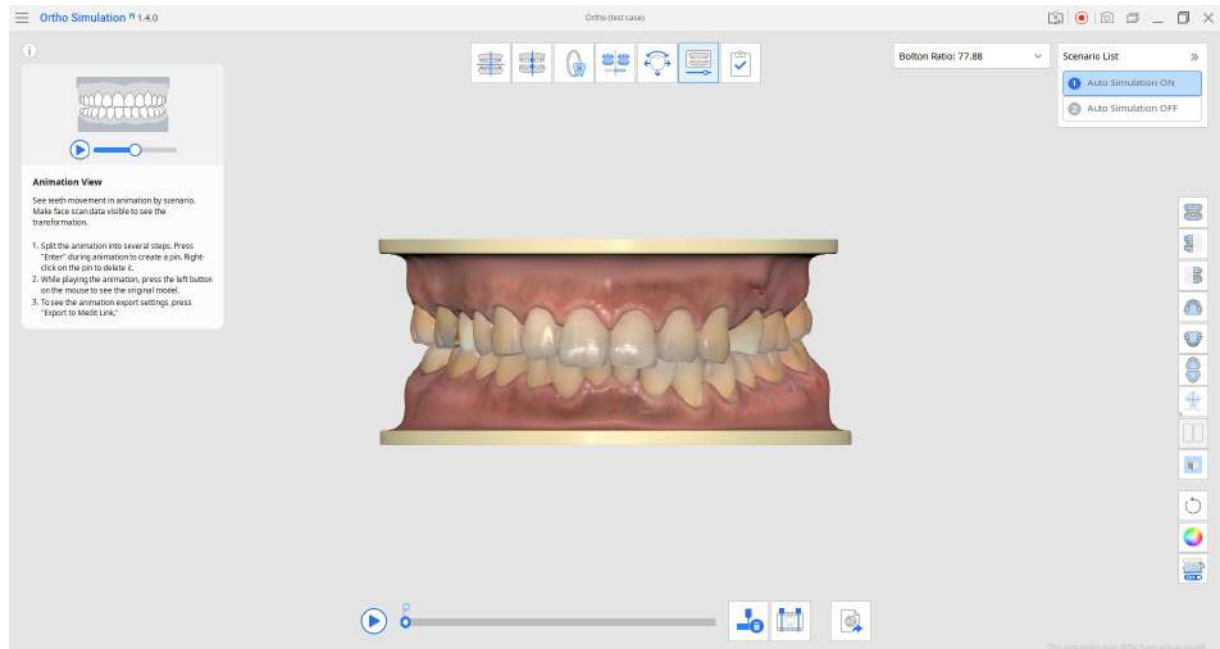
Teeth data is exported as a library file and will automatically be available in your Medit ClinicCAD.



9. この工程のすべての作業が完了したら、画面上部の次の工程のアイコンをクリックします。

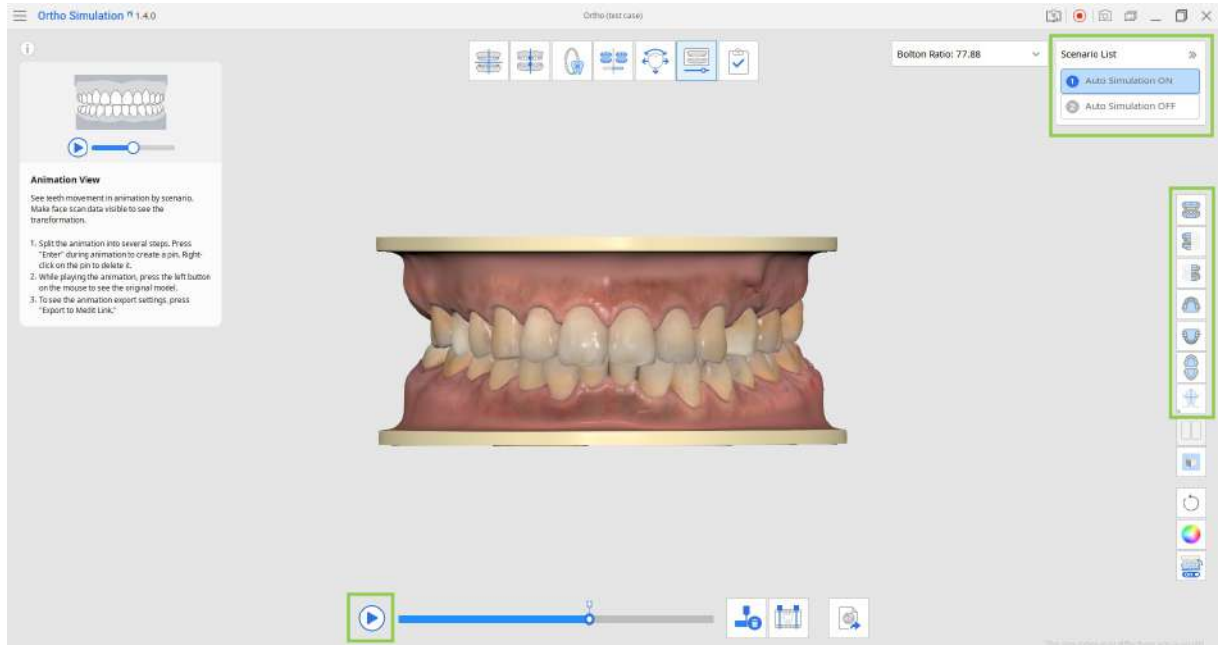
# アニメーションビュー

この工程では、各シナリオ毎のアニメーション化されたシミュレーションが表示され、コンサルテーション用またはシミュレーション分析での視覚的な追加での資料として役立てることができます。必要に応じて、アニメーションの特定の段階の歯のデータをエクスポートすることもできます。

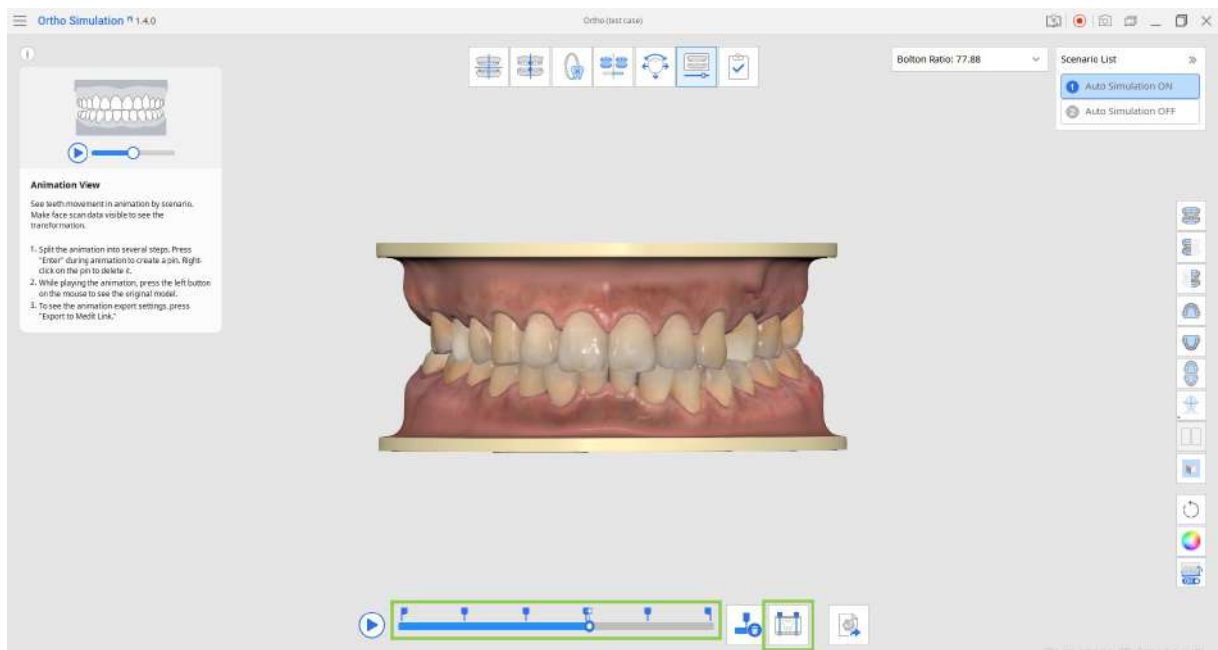


1. アニメーション化された歯の運動を確認するためには、右上隅のシナリオを選択して開始します。次に再生（またはスペースキーを押す）をクリックするとアニメーションが開始されます。アニメーションの再生中にいつでもモデルをクリックすると、再生を一時停止できます。クリックしたままにすると、現在の歯の状態をオリジナルのモデルと比較できます。

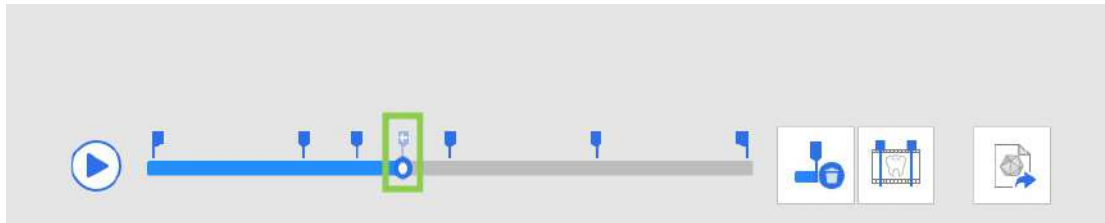
比較しやすいように表示コントロールボタンまたはサイドツールバーの「参照データ表示／非表示」を使用してください。



2. 下部のツールボックスの「アニメーションをステップに分割」をクリックすると、アニメーションが均等なステップに自動的に分割されます。ステップ数を最大20まで設定できます。それから各ステップにピンで印が付けられます。



- 検索バーの上にある小さいピンアイコンをクリックしてステップを手動で作成することもできます。



- ピンを右クリックして削除するか、「すべてのピンを削除」を使用してすべてを一度に削除できます。



3. 必要があれば、下部にある「Medit Linkへのエクスポート」のエクスポートオプションをカスタマイズして特定のステップから歯のデータをエクスポートすることもできます。現在のステップだけ、すべてのステップまたは選択した特定のステップをエクスポートできます。

### 🔍 注意

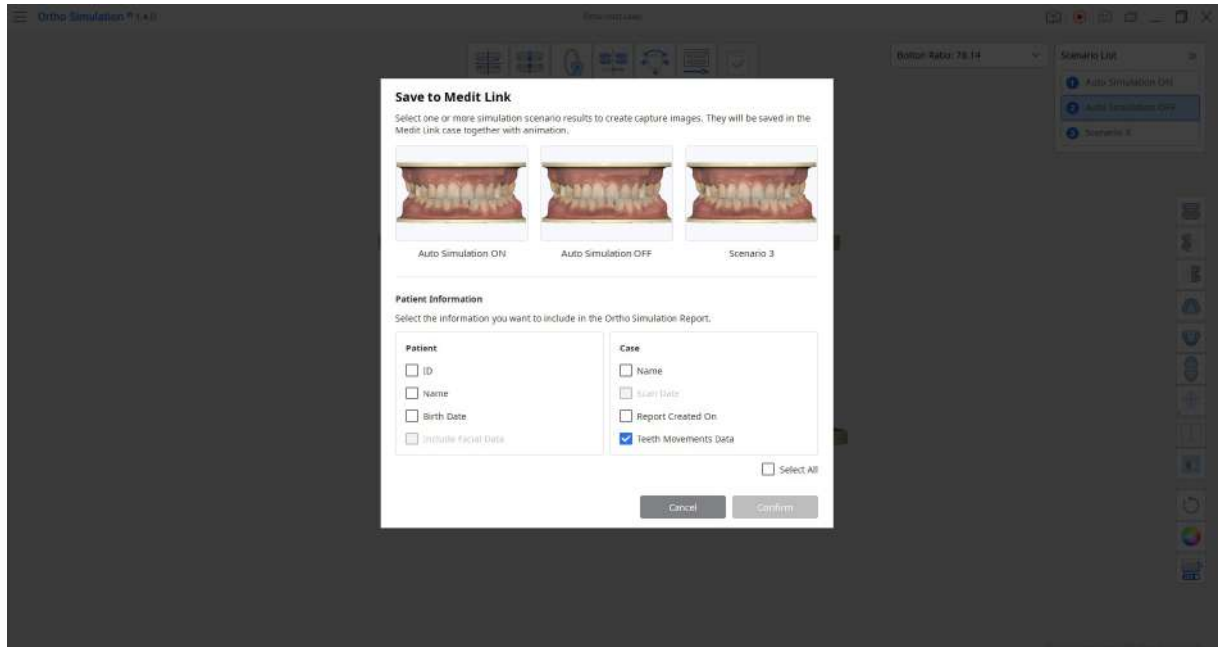
データをライブラリデータとしてではなく、セグメント化された歯としてエクスポートした場合のみ、アニメーションの一つのステップから歯のデータをエクスポートできます。



4. この工程のすべての作業が完了したら、画面上部の最終工程のアイコンをクリックします。

# 完了

シミュレーションプロジェクト上での作業を完了したら「完了」をクリックします。この工程では、現在のプロジェクトの結果ファイルをMedit Linkケースに保存できます。



保存するシナリオを選択します。この場合、複数のシナリオを選択できます。デフォルトでは、プログラムはプロジェクトの以下の結果ファイルを保存します。

- プロジェクトファイル

## 🔍 注意

一つのケースの下ではアプリはプロジェクトを1つのみ作成できます。つまり、同じケースでアプリを再度開く際にプロジェクトファイルは上書きされます。

- プロジェクト情報 (Ortho Simulation Reportとも言う) 付きのシミュレーションの画像をキャプチャ
- アニメーション化されたシミュレーションの動画
- 歯の運動データ付きCSVファイル (任意)

Ortho Simulation Reportの場合、シミュレーションの画像キャプチャに追加する患者とケース情報を確認してください。レポートはMedit Linkで確認できます。

MEDIT Link 3.3.1

Ortho (test case) (User G

Form File Viewer


Raw Data  
Maxilla  
Base  
Mandible  
Base  
Occlusion  
Ortho Simulation  
Teeth  
Auto Simulation ON\_2\_Teeth  
Auto Simulation ON\_3\_Teeth  
Auto Simulation ON\_4\_Teeth  
Library Teeth  
Auto Simulation DT; med8Lib  
Images  
OrthoSimulation\_Auto Simulation ON.png  
Video  
OrthoSimulation\_Auto Simulation ON.mp4  
Etc.  
Auto Simulation ON.csv  
OrthoSimulation.med8OrthoSimulation

OrthoSimulation\_Auto Simulation ON.png

Auto Simulation ON

Patient  
ID: 141  
Name: User Guide  
Birth Date: 1994-03-02

Case  
Name: Ortho (test case)  
Report Creation Date: 5/30/2024 2:53 PM



Ortho Simulation